

2000年度 部報

力漕

Vol. 8

WILD ROVER CREW

同志社大学体育会漕艇部

油畫力報部

目 次

ごあいさつ.....	1
新シーズンに向けて（コーチングスタッフ）	2
（現役部員）	4
年間スケジュール.....	13
戦績.....	14
2000年度会計報告.....	31
卒業生の言葉.....	32
特集.....	39
伝言板.....	42
名簿.....	46
艇友会名簿.....	49
広告.....	52
編集後記.....	61

ごあいさつ

部長　岡本　博公



新世紀を迎えた本年は、1997年に入学・入部した学生達が巣立っていきます。本来であれば、故田中範興君も、おそらく充実した4年間を過ごした喜びを抱きながら、諸君とともにこの部を後にしたことでしょう。思い起こすたびに、残念でなりません。改めてご冥福を祈ります。

さて、2000年は、全日本の決勝に同志社大学のボート部が、久しぶりにたつことができました。この勢いで、さらなる飛躍的な成果をおさめたかったのですが、インカレではその力を十分に発揮することができず、残念ながら名も実もある「古豪復活」は後輩に託すことになりました。しかし、確実に再生の機運はできたと考えます。

学生スポーツの東高西低が続いている。その打破を目指し、ボート部諸君にも頑張ってもらいたいものです。

近年、大学生には「問題発見・解決型の思考」が期待されています。問題は、学問だけでなく、実生活にも、もちろんスポーツにもさまざまに潜在しています。学生諸君はどうか、ボート部の飛躍のために「問題発見・解決型の思考」を心がけ、着実に前進してください。

最後になりますが、日頃から本学ボート部に暖かいご支援とお叱りをいただいております、卒業生の皆様、ご父母の皆様に、この場を借りて心からお礼申し上げます。

新シーズンに向けて

《2001年度コーチングスタッフ》

監督 山口 忠博 (S52年卒)



「創部110周年のシーズンに向けて」

艇友会員の皆様には、現役部員へのご指導・ご援助等でお世話になりありがとうございます。また、部員保護者の皆様におかれましても、ボート部活動にご理解いただきありがとうございます。

さて、2001年を迎えた今シーズンは、ボート部創部110年という記念すべき年でもあります。私は監督を引き継ぎ、ひとつの節目と考えている3年目の今シーズンがこの記念すべき年であることに、心地よい緊張感を感じております。早いもので、私が監督としてスタートを切った平成10年の秋には1回生であった岸本君や山田君が、今では主将、主務としてそれぞれの役割を担って部員を引っ張ってくれています。また、仕事では、近年のリストラクチャリングの影響で、そして私生活では昨年の秋に長女の誕生と、公私共に何かと多忙にもかかわらず今シーズンもコーチを続けてくれる宮崎寿春氏も2年目のシーズンを迎え、部員からの信頼は厚く、彼のコーチングもますます磨きがかかっております。さらには、部員の勧誘とともにボート部再興のポイントのひとつであり、私の課題でもあった新人部員の専任コーチとして、昨年の主将であった高橋毅氏（平成13年卒）を新たに迎え、今シーズンをスタートすることができるのも心強い限りです。

昨シーズンまでの2年間は、ビギニングからファイナルまでの「ブレード固定とレッグドライブのタイミング」そして、「レッグドライブの主動の長いストローク」を課題に取り組んできました。今シーズンは、今までの積み重ねの上に、更に勝負するために必要な「ストロークピッチ」を課題として現在取り組んでおります。部員一同、今年こそは、昨年以上の練習量と集中力、そしてクラブ全体のムードで弾みをつけたいと考えております。

艇友会員ならびに保護者の皆様、今後ともご支援・ご指導をよろしくお願いいたします。

コーチ 宮崎 寿春 (H4年卒)



新しいシーズンに入り、はや半年になろうとしています。今シーズンは部員数は少ないものの、一人一人が目的意識を持ち練習に励んでおります。一方、私はコーチという役に就きながら、日々仕事、育児、その他に追われ、ボート部のことはほとんど監督と学生に任せっきりにしております。しかし、それがかえって良かったのか、全日本新人戦では舵手付きフォアで3位入賞を果たし、加古川レガッタではエイトで見事優勝という好成績を上げることができました。

学生達はもう既に気付いていると思いますが、所詮私の指導なんて学生達が自ら考える練習にも劣るのです。もちろん、これは私の勉強不足が何よりの原因ですが、この機に同志社大学のボート部の体制自体を考え直すべきではないでしょうか？もうそろそろ変わりましょうよ。私がコーチという立場を棚に上げて偉そうに言いますが、もうコーチなんて必要ないと考えます。私を含め、ほとんどのOBは卒業後、ボートとは無関係な場所で仕事中心の人生を送ります。卒業後もボートに携わるOBは稀にいますが、何年何十年もそういうOBがコーチを続けることは不可能です。コーチという立場の人がいる限り、学生はコーチに頼ってしまいます。たとえそれが私のような無能なコーチだとしても。

学生諸君、もうコーチの指導をあてにするのはやめようよ。あなた達の方が知識・熱意・テクニカル・すべての面において優っているのだから。自分達の力だけで勝利を掴むことが十分可能なのだから。

OBの皆様、学生がどのレースに何の艇で出場しようと、どんな結果になろうと暖かく見守ってあげましょうよ。親の敷いたレールの上を歩く人生が、子供にとって必ずしも豊かな人生ではないように、艇友会・監督・コーチが望む艇で望むレースに出場するだけのボート人生は、学生にとって必ずしも豊かなボート人生ではないでしょう。

私が同志社大学ボート部110年の歴史の中で最後のコーチとなつたら、新世紀の同志社大学ボート部はさらに素晴らしいクラブとなるはずです。

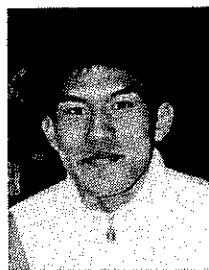
※ 断っておきますが、学生・OBの皆様、決してコーチが嫌になったわけではありません。今シーズンはさらに厳しく指導するつもりです。

《現役部員》

新4回生

主将 岸本 光洋

文学部・社会学科・産業関係学専攻
膳所高校（滋賀県）出身
身長：175cm 体重：72kg



同志社大学ボート部110周年の幕開けとなった加古川レガッタにおいて、エイトで勝利できたことを大変嬉しく思います。

私は第111代主将として、今年は部員の力を借りながら部のために尽くすことを決意します。

さて、同志社大学ボート部は年々変化しており、北谷主将の代には関西で常勝することを覚え、昨年の高橋主将の代には関東も視野に入っていました。そして今年、山口監督、宮崎コーチの素晴らしい指導のもと、部員一同「インカレの勝利」を視野に入れ、日々の練習に励んでいます。私自身のボート部人生も今年で最後の年となります。恥ずかしながら、まだボートの本質を知り尽くすことができないままです。今年こそその「本質」を知るためにより一層の努力をしたいと思います。

最後になりましたが、安全対策に気を配り、常勝同志社復活を必ず達成しますので応援の方よろしくお願いします。

主務 山田 篤

法学部・法律学科
春日部高校（埼玉県）出身
身長：170cm 体重：67kg



これを書くのも最後になってしまい、月日の流れの早さを改めて感じさせられます。残り少ないボート部での生活で、自分はボート部のために何ができるのか、主務になってからこのことが最大のテーマになり、日々悩み続けてきました。しかし、それはおそらく無限にあり、完全には成し遂げられないかもしれません。でも、部員の勝利のためにできることを一つ一つ確実にやっていくことが、結局は正しい道なのだと考えます。

21世紀、110周年…、記念すべき年に主務をやらせてもらえるということを本当に嬉しく思います。今までの伝統を受け継ぐだけでなく、自分達で新しいものを創造し、それを新世紀に伝えていくよう努力していきたいと思います。

副将 坂本 暢裕

商学部
熊本学園大学付属高校（熊本県）出身
身長：181cm 体重：80kg



今年は最後の年、周りに惑わされることなく悔いの残らないようなシーズンになるよう、チーム一丸となってやっていけば、結果はついてくると信じています。内藤さん、今年はやります！！

会計 菅野 浩平

文学部・文化学科・教育学専攻
桃山学院大学付属高校（大阪府）出身
身長：167cm 体重：55kg



こんにちは、三流コックスの菅野です。早いものでいつの間にか最上回生、ビートルズが世界を制覇した年齢になってしまいました。しかし、僕はまだまだ未熟で、自分の技量のなさ、器の小ささを痛感する毎日あります。年を食い、上に立ち、ある程度周りが見えてくると、自分達がいかに多くの人々に支えられているかを知りました。監督、コーチ、OB・OGの先輩の方々、マネージャー、みんな、両親、愛犬コロ、etc. そんな自分達を支えて下さった全ての人達に僕ができる事、それはFight for the Victory！

木村 理恵子

文学部・社会学科・社会学専攻
広島女学院高校（広島県）出身



私が1回生の時、インカレ3連覇を果たした当時相模女子大学の高井さんと一緒に撮ってもらった写真が、今でも部屋に飾られています。この写真は私に強くなることを忘れさせないです。そして、私の周りにいる男子部員もまた、私を振り立たせる原動力となっているのです。

最後の年がやってきました。強くなることを一度も忘れたことのない私の最終目標は、表彰台の一番高い所に立つことです。

マネージャー・統制 井上 尚子

神学部
敬和学園高校（新潟県）出身



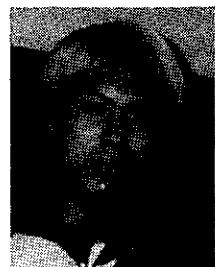
近頃、唐橋からの眺めがやけに美しく思えるのはなぜだろう…。大仕事を終えて少しできた心の余裕の現れか、これが充実感の証しなのか…。そういえば3年前、この瀬田の風景にも誘われて入部を決断したのだったと懐かしく思い起こす。

いよいよ残り1シーズン。部員の勝利をひたすら願いつつ、あとは存分に楽しませていただきます。

新3回生

赤尾 宣彦

商学部
大垣南高校（岐阜県）出身
身長：176cm 体重：69kg



去年から腰痛でずっと乗艇できず、ほんと辛かったけれど、3回生の方が諦めないようにと励まして下さり、どうにか乗艇できるようになった。みんなと一緒に練習できることがどんなに楽しいことかが分かった。大会に出られるようになるのはまだまだ先であるけれど、無理してケガをしないように、気を付けて上達していきたい。

今こうして、ボート部で頑張っていられるのは、3回生のみなさん、特にサッカーにもつき合って下さい、辛いときに親身になって相談にのってくれた坂本さんのおかげです。

期待を裏切らぬよう、切磋琢磨していきたい。

風岡 洋介

法学部・政治学科
広島国泰寺高校（広島県）出身
身長：173cm 体重：69kg



挑戦することで本当の勝利は得られるのだと思います。自分の可能性に見切りをつけることはしたくないと思います。

木口 学

法学部・法律学科
奈良学園高校（奈良県）出身
身長：175cm 体重：74kg



最近思うこと、なんでこんなにふくらはぎがでかいんだろう。そろそろフクラハギ星に帰ろうか…。水泳部主将に向ふ心を持てと励まされた。今まで敗者復活で勝てれば大喜びしていた自分が、琵琶レガ・全日本新人と優勝できなくて悔しいとまで思えるようになった。今の自分に合わせた目標を立てるのではなく、目標を目指して自分を高めろということなのだろう。そんな自分の目標はインカレ優勝だ。

直原 史明

文学部・社会学科・産業関係学専攻
関西高校（岡山県）出身
身長：175cm 体重：68kg



今年は雑用もなくなり、とても気楽な年でした。しかし、最近ふと危機感を感じる。僕はボートのことをどれだけ理解できているであろうか。現に、技術面にしても、考え方にも、まだまだ未熟だと思う。今までは、僕の目標である「ボートを極めて、同志社の直原という名をボート界に広め、ファンクラブを作ること」は難しい。タイムリミットはあと2年間。有名になるために、そしてボート部でしか得ることのできない様々な貴重な経験をするために、常にトップレベルを目指して頑張っていきたいと思う。

宮薙 修毅

文学部・英文学科
西湘高校（神奈川県）出身
身長：169cm 体重：66kg



一生のうちで若い頃が一番いい。青春の血が生き生きと脈うっているからだ。だが、それ過ぎると、あとは悪くなる一方だ。そして、やがて最悪の時がやってくる…。いったん盛りをしてしまえば、永久に待ち惚けを食うだけなんだ。だから、今という時を惜しみ、今日という日を楽しむ。

毛利 泰紀

商学部
宇和島東高校（愛媛県）出身
身長：178cm 体重：72kg



2年目を迎える、様々な面で成長した年だった。特に全日本新人では、2回生を中心とするクルーで出場し、3位という結果を残すことができた。この大会では2回生がクルーを引っ張り、後輩からの刺激もあり、1・2回生が一丸となっていい結果を残すことができた。その陰では、マネージャーさん、3回生の皆さんのが助けてあってこそ成し得た結果だと思う。このように同志社大学ボート部がより一層一丸となれば、これより大きな結果を生むことができると思う。来年度は3回生になり、見る立場から、見られ、引っ張る立場へと変わる。本当の進化が問われる年だと思う。そういう時に自分に甘えをなくし、積極的な行動をとっていきたい。

マネージャー・学連 山本 和博

文学部・英文学科
八千代松陰高校（千葉県）出身



学連として仕事をしてから、もう1年になろうとしている。学連をしていると犠牲にするものが多い。学連と恋愛を両立するのは難しい。しかし、台風の中の加古川で、奇跡を起こした僕ならできると思う。来年も頑張るぞ。

マネージャー・艇友会 近藤 聰子

文学部・英文学科
同志社国際高校（京都府）出身



時間が急スピードで去っていく。うっかりしてたら、大切なを見失ってしまいそうだ。どうすればいい?でも、焦っても仕方がない。焦れば焦る程、見えていたものさえ見失ってしまいそうだ。残されたこれから約2年間。しっかりと目を開いて歩いていこうと思う。どんな小さな輝きも見落とさない。瞳に映る沢山のTreasures。目に焼き付けよう。今しか見えない、特別な瞬間を。Be Smile.

マネージャー・広報 坂田 美紀

商学部
広島井口高校（広島県）出身



マネージャーという立場に戸惑い、漕手の勝利に共感すらできなくて、悩みまくった1年前の私と今私は明らかに違う。沢山の仕事と直面して、マネージャーは欠かすことのできない存在であることを実感し、今任されている仕事にかなりのやりがいを感じている。そして、仲間の勝利に自然と共感している。マネージャーなら当然の事と言わればそれまでだが、私がここまでなるのは1年もかかった。だからやっと、今自分がやるべき事に誇りと責任を持ってやり遂げようと決心できた。このマネージャーという立場を選択して本当によかったのか未だに分らないけれど、そう思える日の為に、同志社の勝利の為に、いつも熱い仲間の為に、そして何より自分の為にマネージャーとして磨きをかけ、ボート部でなくてはならない存在になりたい。

新2回生

今東 俊雄

商学部
関西高校（岡山県）出身
身長：178cm 体重：68kg



私は同志社大学の商学部のセレクションで入学致しました。私は今、ボートが楽しくてたまりません。その気持ちを今回の「力漕」でみんなに伝えたいと思います。

人間楽しい事はいくらでも出来る。しかし、苦しい事はなるべく避けたい。それは誰しもが思うこと。しかし、その苦しい一日一日が自分の目標へと確実に近づいている事を理解して欲しい。試合で自分達が一位で通過した時どうだった?嬉しかったろう?その時の気持ちを忘れるな!常に自分が勝利した時の姿を頭に浮かべておく。イメージの持ちようで全然練習が楽しくなる。

せっかくボート部に入部したんだから、もっとボートを楽しもう。そしてもっとボートを好きになろう。そうすればその先に…。

鳥井 淳

工学部・機械システム工学科
東舞鶴高校(京都府)出身
身長：160cm 体重：55kg



最初漕手、次にコックスとして練習に参加した。漕手の時は体が小さいためにレンジが短くなったりして不利だったが、コックスとなった今、それは有利に働く。それが何より嬉しい。まずは、ラダーをうまく操って、次に声が出るようにして、やっと二流コックス。一流コックスへの道のりは遠いが、皆が色々教えてくれるので、それに応えて頑張っていきたい。

中村 洋太郎

経済学部
生田高校（神奈川県）出身
身長：178cm 体重：72kg



ボートは奥が深い。モーションを重ねるたびに感じることは、自分を知り、仲間を知り、自分を感じ、仲間を感じることが大切だ。1本1本の漕ぎが積み重なって勝財が決まる。残されたボート部生活、自分と仲間の可能性を感じて共に頑張りたい。

堀内 康武

商学部
上田高校（長野県）出身
身長：167cm 体重：63kg



ボートを始めて、半年ほどということもあり、現在僕は、体力、技術共に皆より非常に劣っている。この差を埋めるためには、何をする必要があるかは分かっているので、あとは努力をするだけです。だから僕は努力します。

松尾 智之

工学部・エネルギー機械工学科
報徳学園高校（兵庫県）出身
身長：171cm 体重：67kg



「起～床～」の声と共に起き、練習をしてきて、そしてシーズンを終えた今、僕は後ろを振り返ってみる。非常に時が経つのが早い。充実している。僕自身未だにボートのことは分からぬ。ただ先輩に言われるがままにしている。しかし、先輩を信頼しているから疑いを持つことなく頑張ってこれた。こ

れからもそうしていこうと思う。それと、今年のセレクションは一人だけだ。他は一般。同志社を強くしていくには、一般の底上げが絶対に必要となってくる。その辺を考えて、良い緊張感を持っていきたい。最後にせっかく普通の学生と違い、あえてしんどい道を選んだ訳だから中途半端にしたくない。だから、これからも仲間や先輩達と共に一つの目標に向かって精進し続けていきたい。

村井 亮

工学部・電子工学科
彦根東高校（滋賀県）出身
身長：180cm 体重：67kg

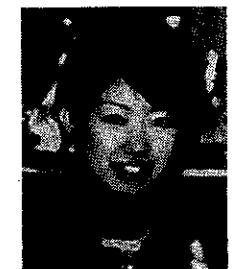


入学した時、大学に全く魅力を見出せなかった。家から学校まで2時間弱かかる通学に足どりは重たく、毎日の生活にやる気もなかった。居心地の悪いキャンパス生活が続いた。中身のない形だけの毎日を過ごすのはイヤだった。退屈な毎日を過ごすのはイヤだった。4月の下旬、一人で艇庫に部活見学に来た。ちょうど朝日レガッタの数日前だった。そこには、学校とは違う、全く異質の空気があった。

それから数ヶ月経った今、ボート部の一員になったオレは、自分の目指すべきものに近づいたのだろうか。

マネージャー・広報 江崎 祐子

文学部・英文学科
向陽高校（和歌山県）出身



ボート部に入部して半年、早くもすばらしい仲間に出会えたように感じています。私にとって、新しく、日々得るものが多いこの環境でこれから、より成長していきたいと思っています。まだまだ未熟ですが、一生懸命努力し、ただ仕事ができるだけでなく、選手と一体となって喜び、感動し、悔しがり、涙を流す、そんなマネージャーになっていきたいです。

マネージャー・艇友会 小谷 裕子

同志社女子大学・文学部・英文学科
大聖寺高校（石川県）出身



大学生活4年間のうちで、私はどれだけ成長できるであろうか。これといった動機もなく、試乗会で

「うん、これだ！」と即決してしまったボート部へ入部…。もう、あれから1年の月日が経ってしまった。月日の流れは早いものだが、この1年間、学ぶべきものは多々あり、また、素晴らしい先輩方や仲間達にも恵まれて、本当に充実していたように感じている。

とは言ってもまだ1年…。これから3年間、楽しいだけではなく、様々な困難に直面するであろう。挫折を味わう事もあるかもしれない。しかし、私は負けない。自分に負けることなく、マネージャーという仕事を全うしたい。そして、ボートというスポーツの魅力をどんどん感じていきたい。そう、自分の挑戦はまだ始まったばかりなのだっ!!!

マネージャー・広報 田中 喜子

文学部・文化学科・美学及芸術学専攻
同志社女子高校（京都府）出身



ボート部に入部して4ヶ月。時が経つのは早いものだ。これまで過ごしたボート部生活の中で、私は着実に何かを学び得てきたことは言うまでもなく、これからもそれは続いてゆくであろうと確信している。

“迷うのはやめよう”。優勝に向かってがんばるプレイヤー達を見た後、自然にこの言葉が心に残る。あるのは先だけ。そう信じて自分の道を歩んでいきたい。

マネージャー・艇友会 吉住 香里

文学部・英文学科
東和大学付属昌平高校（埼玉県）出身



私がボート部のマネージャーとして入部してから早くも約5ヶ月が過ぎようとしている。普段の部活動をはじめ、試合などを通して、仕事の楽しさを知ると共に、難しさを痛感している。なぜなら、選手の皆さんのが練習を頑張っている傍ら、部の運営をいかに上手く進めていくかは、私達マネージャーにかかると思っているからだ。部において、一人一人が果たす役割や目標などは、もちろん違うであろう。でも、そのうちのどれ一つとして欠くことはできないと思う。皆の力を集結し、一丸となり、頑張っていくことで、喜びや悔しさを分かち合えるようでありたい。これからも、同志社大学ボート部の一員であるという自覚を忘れず、そしてマネージャーという立場から、部全体を良い方向へ導いて行く手伝いをさせて頂きたいと思う。

年間スケジュール

1999

1/0/4	幹部交代
1/0/8～1/10	全日本新人選手権 於：長良川
1/0/29～3/1	加古川レガッタ 於：加古川
1/1/14	学内レガッタ 於：琵琶湖
1/2/24	納会

2000

1/2	初漕ぎ
1/7	練習再開
1/23	エルゴ大会
2/11	艇友会総会・卒業生送別会
3/21	卒業式
4/1～7	新入生勧誘期間 5・8・15・19 試乗会
4/22	エンパッハ進水式
5/3～6	朝日レガッタ 於：琵琶湖
5/21	新歓コンパ
6/1～4	全日本選手権 於：戸田
6/3～4	新人ナックルレガッタ 於：琵琶湖
7/28～3/0	関西選手権・瀬田杯 於：琵琶湖
8/8	献花式
8/24～2/7	全日本大学選手権 於：戸田
8/25	関東艇友会
9/6	練習再開
9/23～2/4	琵琶湖レガッタ 於：琵琶湖
10/1	京都レガッタ 於：琵琶湖
10/6～8	全日本新人選手権 於：長良川

1/1/3～5	加古川レガッタ 於：加古川
1/1/12	学内レガッタ 於：琵琶湖
1/1/15	幹部交代
1/2/24	納会
2/1/2	初漕ぎ
1/6	練習再開
1/21	エルゴ大会
2/10	艇友会総会・卒業生送別会

今後の試合予定

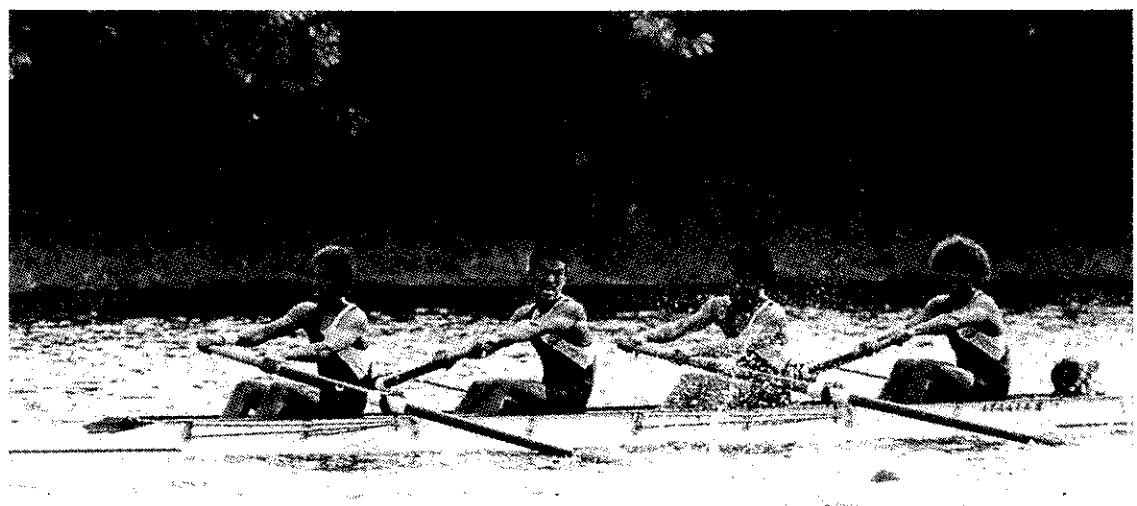
5/3～6	朝日レガッタ
5/31～6/3	全日本選手権
7/27～2/9	関西選手権
8/23～2/6	全日本大学選手権

先輩方の応援が部員にとって励みとなっております。皆様揃って応援に来て下さいますのを心よりお待ちしております。

戦 績



全日本大学選手権 舵手無しフォア



全日本大学選手権 舵付きフォア

加古川レガッタ

1999/10/29~31 《加古川》

◆舵手付きフォア【2位】

S 高橋 豪
3 竹内 悠
2 毛利 泰紀
B 末広 恒一
C 吉田 亮

<予選> 2000m

1 同志社大 6'59"29
2 大阪市立大 7'11"89
3 徳島大 7'12"15
4 大阪工業大 7'40"50

<準決勝>

1 同志社大 7'11"84
2 兵庫大 7'16"45
3 大阪市立大 7'28"22
4 広島大「隼鷹」 7'32"58

<決勝>

1 京都大B 6'46"77
2 同志社大 6'46"85
3 関西大A 6'48"63
4 大阪大「八雲」 6'55"19

◆新人フォア

S 赤尾 宣彦
3 木口 学
2 風岡 洋介
B 宮薗 修毅
C 菅野 浩平

<予選> 2000m

1 滋賀大教育「無双」 7'22"13
2 龍谷大 7'22"72
3 同志社大 8'03"13
4 茨城大 8'08"67

<敗復>

1 香川大 7'38"45
2 同志社大 7'40"72
3 神戸商船大A 8'33"72

<決勝>

1 龍谷大 7'15"74

2 熊本学園大	7'20"76
3 滋賀大教育「無双」	7'23"01
4 京都大「紫明」	7'39"35

◆ダブルスカル【A 6位】

A-S 坂本 暉裕
B 岸本 光洋
B-S 直原 史明
B 山田 篤

<予選> 2000m

1 同志社大A 7'29"76
2 京都大「狹霧」 7'37"76
3 京都大医学部「紅翔」 7'42"14

<予選>

1 同志社大B 7'36"66
2 京都大「瑠璃II」 7'45"88
3 京都大医学部「彗星」 8'20"13

<準決勝>

1 立命館大 7'04"13
2 同志社大A 7'11"43
3 茨城大A 7'24"17
4 追手門学院大・大阪大 7'36"14

<準決勝>

1 龍谷大 7'21"40
2 同志社大B 7'26"30
3 茨城大B 7'27"59
4 京都大「瑠璃II」 7'40"25

<順位決定>

1 京都府立医科大 7'11"03
2 同志社大A 7'14"40
3 京都工繩大・京都大 7'26"17
4 同志社大B 7'32"25

<決勝>

1 立命館大B 7'02"07
2 立命館大A 7'02"65
3 京都大「椿」 7'03"97
4 龍谷大 7'34"37

◆女子シングルスカル【2位】

木村 理恵子

<予選> 2000m

1 木村 (同志社大)	9'09"95
2 濑恒 (滋賀医科大)	9'47"00

3	中村 (滋賀大教育)	10'01"79
4	渡辺 (滋賀大経済)	10'46"70
<準決勝>		
1	木村 (同志社大)	8'29"67
2	後藤 (徳島大)	9'02"54
3	廣戸 (茨城大)	9'06"94
4	長谷川 (神戸商船大)	9'12"24
<決勝>		
1	富岡 (龍谷大)	8'24"63
2	木村 (同志社大)	8'29"67
3	瀬恒 (滋賀医科大)	9'06"89
4	後藤 (徳島大)	9'26"68

全日本新人選手権

1999/10/8~10 《長良川》

◆女子シングルスカル【2位】

木村 理恵子

<予選> 2000m

1	木村 (同志社大)	8'05"47
2	福田 (慶應大)	8'15"14
3	勝瑞 (日本体育大B)	8'19"70
4	馬渡 (北海道大B)	8'21"13
5	伊藤 (金沢大)	8'26"35
6	石田 (高石高校)	8'26"35
7	林雅 (北海道大C)	8'27"77
8	脇坂 (千葉大)	8'42"34

<準決勝>

1	大澤 (今治西高校)	8'07"87
2	木村 (同志社大)	8'10"84
3	赤木 (北海道大A)	8'11"59
4	河原田 (デンソー)	8'14"47
5	加藤 (鹿屋体育大)	8'18"68
6	馬渡 (北海道大B)	8'31"28

<決勝>

1	長山 (龍谷大)	8'48"80
2	木村 (同志社大)	8'49"40
3	大澤 (今治西高校)	8'50"01
4	築原 (法政大)	8'51"97
5	赤木 (北海道大A)	8'56"77
6	山口 (関西電力小浜B)	8'57"75
7	河原田 (デンソー)	8'58"61

8	前本 (東京経済大)	9'08"91
---	------------	---------

朝日レガッタ

2000/5/3~6 《琵琶湖》

◆対校エイト

S	高橋 育
7	直原 史明
6	銭谷 剛史
5	竹内 悠
4	坂本 暉裕
3	山田 篤
2	岸本 光洋
B	末広 恭一
C	吉田 亮

<予選>

1000m

1	同志社大	3'01"79
2	立命館大	3'04"36
3	岡山大「回天」	3'12"72
4	名古屋工業大	3'14"69
5	大阪工業大「凱風」	3'15"30

<準決勝>

1	東レ滋賀	2'57"02
2	大阪大	3'01"10
3	同志社大	3'03"66
4	京都大濃青会	3'08"48
5	神戸大	3'09"05

<決勝>

1	中部電力	2'59"66
2	龍谷大	3'00"53
3	東レ滋賀	3'01"53
4	京都大	3'02"32
5	大阪大	3'06"85
6	関西大	3'10"93

長かった冬も終わり、シーズン到来をつける朝日レガッタ。よく言われることであるが、この大会の出来によって以後の成績が大体決まってくる。そのことを前から聞かされていたため、試合前は大変緊張した。

まずは予選。他のクルーを見ても、そんな力負けするような相手じゃない。これはいけると感じた。

実際、スタートから出で終始リードを保ったままゴール。クルー全体的にはかたさがあるのが気になつたが、次の準決勝もいけるだろうとおそらくみんなが確信していたであろう。

準決勝。わずかなかたさと楽観的気持ちを持ちながら臨んだこのレースであったが、相手を見れば東レ、大阪大と氣を抜けないクルーと当たっていたため、いざスタートすると焦りが生じてしまった。それでも500m地点過ぎまでは東レと半艇身弱くらいの差であった。しかし、ここからが悪夢の始まりで、東レがだんだん船速を速めていくと、その陰には大阪大がいた。我々はますます焦りだし、コックの声にもうまく反応できなくなってしまい、結局ジリジリと差をつけられ3位でゴール。信じられない、信じたくないというのが正直な感想であった。この試合で得た反省を活かして以後の試合を頑張っていきたい。

(3回生 山田篤)

◆舵手付きフォア

S	今東 俊雄
3	木口 学
2	風岡 洋介
B	宮薗 修毅
C	菅野 浩平

<予選>

1000m

1	愛媛選抜	3'23"09
2	NTT滋賀	3'25"16
3	本田技研鈴鹿	3'26"05
4	同志社大	3'32"80
5	松風会	3'35"95
6	PUE RUSEUS II	3'57"79

<敗復>

1	同志社大	3'24"80
2	紫紺艇友会	3'26"60
3	神戸大	3'26"83
4	長崎医科大	3'33"98
5	滋賀大経済	3'41"87

<準決勝>

1	明治生命	3'07"72
2	NTT滋賀	3'21"52
3	関西大	3'23"23
4	広島工業大	3'25"64

5	同志社大	3'25"86
<決勝>		
1	明治生命	3'07"63
2	三洋電機滋賀	3'09"94
3	富山RC	3'18"38
4	BOMBERS	3'23"13
5	滋賀医科大	3'30"15

今回の朝日レガッタでは、初めてできた後輩の今東と同じ艇に乗るということで、クルーにとついい刺激になったと思う。この試合で僕らの作戦は、スタートと力漕からコンスタントレートに落ちるまで根性ローリングをし、500m地点でミドルスパートを入れて、後はゴールまで逃げ切るというものだった。

予選では、スタートからコンスタントで愛媛選抜とNTT滋賀と本田技研鈴鹿にどんどん離されていき、ミドルスパートもうまくいかずそのまま離されて、レースは終わってしまった。敗戻では、予選の失敗を活かして足蹴りを入れた時はどんなに疲れていても、みんなで蹴ろうとレース前に決めて試合に臨んだ。スタートとコンスタントでは名古屋工大と神戸大と並んでいたが、ミドルスパートで一気に前に出て、相手の背中を見ながら漕げた。そして、ラストスパートで一気に名古屋工大が詰めてきたのには驚いたが、何とかそのまま1位でゴールすることができた。準決勝では、明治生命と当たつたので、ラストでどんなにバテてもいいからミドルスパートで一気に出るという形を意識していけどコーチにアドバイスされてレースに臨んだ。スタートで明治生命は視界から消え、コンスタントでNTT滋賀にも離れていたが、このレースのポイントであるミドルスパートで関西大と広島工大よりも前に出ることができた。しかし、ラストでみんなバテてしまい、最後には広島工大にもさされてしまった。

この朝日レガッタで、僕達はいろいろ経験できた。初めて1位でゴールする喜びを味わえたし、みんなに感動したと言ってもらえるレースをしたのも初めてだった。この経験と喜びを次に活かせるよう日々精進していきたい。そしてまた、みんなを感動させるようなレースがしたい。

(2回生 木口学)

◆シングルスカル

毛利 泰紀
<予選> 1000m

1 毛利 (同志社大) 3'59"85
2 岡崎 (瀬田RCA) 4'07"60
3 上山 (松江高専) 4'08"43
4 畑 (神戸大A) 4'13"23
5 光代 (滋賀医科大) 4'24"25
<準決勝>

1 高坂 (日本大) 3'43"76
2 井上 (日本体育大) 3'45"73
3 毛利 (同志社大) 4'04"13
4 布施 (滋賀銀行) 4'07"47
5 岡崎 (瀬田RCA) 4'08"69
6 中西 (甲南大) 4'09"47
<決勝>

1 武田 (ダイキ) 3'38"35
2 矢野 (日本体育大) 3'44"70
3 笠場 (三洋電機滋賀) 3'49"61
4 小泉 (龍谷大A) 3'55"26
5 高坂 (日本大) 3'55"59
6 篠原 (NTT滋賀) 4'09"28

◆女子シングルスカル【5位】

木村 理恵子
<予選> 1000m

1 狩野 (ソニー美濃加茂) 4'35"58
2 合田 (滋賀銀行) 4'38"95
3 木村 (同志社大) 4'42"38
和多田 (関西電力小浜) 番号
野瀬 (追手門大A) 番号
<敗復>

1 木村 (同志社大) 4'18"51
2 森本 (関西電力小浜) 4'35"36
3 市居 (浜寺RC) 4'40"25
4 荒井 (スミセイRC) 4'52"72
<準決勝>

1 高井 (インテック) 4'07"05
2 木村 (同志社大) 4'08"88
3 山内 (明治生命) 4'13"50
4 佐合 (中部電力) 4'18"37
5 豊田 (大垣共立銀行) 4'36"00

<決勝>

1 高井 (インテック) 4'04"80
2 森 (インテック) 4'05"76
3 狩野 (ソニー美濃加茂) 4'07"85
4 合田 (滋賀銀行) 4'19"25
5 木村 (同志社大) 4'19"97
6 米村 (関西電力小浜) 4'23"20

全日本選手権

2000/6/1~4 <戸田>

◆舵手なしフォア【4位】

S 高橋 翔
3 竹内 悠
2 銭谷 剛史
B 末広 恒一

<予選> 2000m
1 日本大 7'06"44
2 志同社大 7'11"28
3 慶應大 7'14"38
4 中央大 7'18"23
<敗復>

1 志同社大 6'36"62
2 香港 6'37"91
3 中央大 6'41"37
4 一橋大 6'50"32
5 富山国際大 6'52"72
<準決勝>

1 早稲田大 6'30"79
2 志同社大 6'34"34
3 慶應大 6'42"47
4 東京大 6'42"99
<決勝>
1 法政大 6'22"68
2 早稲田大 6'23"90
3 香港 6'34"78
4 志同社大 6'38"14

同志社では初めて舵手なしフォアで臨んだ全日本選手権大会。朝日レガッタが終わって1ヶ月もなかった。琵琶湖では2000mのコースはなし、瀬田川はカーブが多い上に、コックスがない分漕ぎに

くい。条件は厳しかった。でも、ある程度の自信はあった。それは、エイトの時のストロークフォアであることと、他の3人は信頼できる先輩だったからだ。

忘れもしない予選。戸田の2000mに慣れていないせいかペースが分からず、1500mまでトップであるにも関わらず、結局2位でゴール。敗復にまわった。あんなに苦しいレースは久しぶりだった。息がきかず、マジで死ぬかと思った。敗復は2艇上がりだったが、タイムを狙わないと準決でいい組に入れないでの1位を狙った。レースは接戦、ラストスパートで香港を交わしゴールした。準決でマークするのは、早稲田と慶應だった。慶應には予選で勝っているが、決して甘くは見なかった。必ず前半から飛ばしていくと読み、落ち着いて自分たちの漕ぎをすれば決勝に進めると思った。すばりその通りのレース展開だった。ラストスパートを入れることなく、樂々2位でゴール。全体でも2位だったので、これは“いいける”と思った。決勝のレースのスタート前、こんな言葉を交わしたことを見ている。「木村やフォアの分まで頑張りましょう」「先輩、信じてます。だから僕のことを信じてください。」なぜこんなさうい言葉が出てきたのか分からぬ。レースは最悪だった。戸田特有のコンディションの前に、自分達の漕ぎはなく、敗復で勝った香港にさえもゴール前でさされ4位だった。メダルがあるのとないのでは大きく違い、悔しかった。また最初からやり直したい。

(3回生 竹内悠)

◆舵手付きフォア

S 坂本 暢裕
3 直原 史明
2 岸本 光洋
B 山田 篤
C 吉田 亮

<予選> 2000m
1 警視庁 7'38"91
2 東海大 7'43"80
3 志同社大 7'51"46
4 東京商船大 7'55"20
5 滋賀大経済 7'56"86

<敗復>

1 三菱RC 7'04"22
2 東海大 7'06"96
3 志同社大 7'12"93
4 一橋大 7'13"82
<決勝>
1 明治生命 6'14"44
2 三洋電機滋賀 6'17"35
3 中央大 6'25"65
4 富山RC 6'27"88

この試合では、結果はふるわなかつものの、収穫は大きかった。まず、予選でのミスを敗復で立て直し、予選で全く試合をさせてもらえなかつた東海と敗復では駆け引きのあるレースが出来たこと。それと敗復では力を出せたために、まだまだ関東との力の差を感じる事が出来たこと。それぞれ何が足りなかつたのかということ。この試合は、次のインカレだけでなく、来シーズンにもつながる大切なレースだった。

(3回生 坂本暢裕)

◆女子シングルスカル

木村 理恵子

<予選> 2000m
1 門馬 (江戸川大) 8'31"88
2 木村 (志同社大) 8'32"77
3 小栗 (貞山C愛知) 8'41"64
4 清野 (東海大) 9'40"74

<敗復>

1 小栗 (貞山C愛知) 8'23"08
2 木村 (志同社大) 8'26"53
3 脇坂 (千葉大) 9'00"83
4 寺田 (名古屋大) 9'14"12

<準決勝>

1 浅野 (滋賀銀行) 8'18"99
2 米村 (関西電力小浜) 8'21"76
3 木村 (志同社大) 8'35"42
4 土佐 (龍谷大) 8'59"54
<決勝>
1 岩本 (早稲田大) 7'45"94
2 高井 (インテック) 8'00"54
3 浅野 (滋賀銀行) 8'06"91

4 佐藤（日本大） 8'09"38

関西学生新人レガッタ

2000/6/3~4 《琵琶湖》

◆ ナックルフォア【B優勝】

A—S 中村 洋太郎

3 松尾 智之

2 鳥井 淳

B 宮菌 修毅

C 毛利 泰紀

B—S 今東 俊雄

3 木口 学

2 村井 亮

B 堀内 康武

C 赤尾 宣彦



<予選> 500m

1 同志社大A 2'09"13

2 大阪工業大B 2'14"09

3 大阪府立大 2'20"37

4 神戸大C 2'33"38

5 関西大E 2'40"98

<予選>

1 同志社大B 1'57"23

2 大阪府立大C 2'10"42

3 関西学院大B 2'10"88

4 京都大医学部 2'12"78

5 神戸大D 2'19"15

<準々決勝>	
1	神戸大A 2'05"31
2	大阪市立大A 2'07"58
3	同志社大A 2'10"28
4	神戸大D 2'12"81
5	滋賀大教育 2'17"51

<準々決勝>	
1	同志社大B 1'57"80
2	龍谷大 2'03"90
3	大阪工業大D 2'13"37
4	大阪工業大B 2'14"93

<準決勝>	
1	同志社大B 1'59"97
2	京都大A 2'19"92
3	関西大B 3'12"00

<決勝>	
1	同志社大B 1'51"10
2	龍谷大 1'55"16
3	神戸大A 2'02"07

この大会は同志社から2艇出て、僕の艇はAチームであり、メンバーはC毛利さん、S中村、3僕、2鳥井、B宮菌さんであった。そして試合のほうは、両チームとも予選を1位で通過したが、僕らのチームは負けてしまった。わざわざ応援に来てくれた人には申し訳なく思う。一方、Bチームは順調に勝ち続け、見事に優勝した。嬉しかったが、自分が応援する立場であり、その決勝の舞台に立つことができなかつたことが何より悔しかった。この悔しさを使って練習に励み、レベルアップをはかりたい。それにも表舞台に立てなかつたのは非常に悔しかった…。

(1回生 松尾智之)

ボートという競技がどのような競技かも分からず、入部して約1ヶ月で迎えたナックルレガッタは、思っていた以上に緊張した。結果的には優勝することができたのだが、クルーの中で僕だけがボート初心者ということもあり、僕がクルー全体の足を引っ張っていた感は否めない。技術的には勿論のこと、体力的にも他のクルーよりかなり劣っていた。今後これらの点をどれだけ早く克服できるかが僕の課題である。

今回のナックルレガッタは課題ばかりが目立つてしまつたが、最初の試合で優勝できたということ、勝つ喜びを知ることができたのは大きなことであった。これからはこの喜びを目指して力の限り漕ぎ続けたいと思う。

(1回生 堀内康武)

関西選手権

2000/7/28~30 《琵琶湖》

◆対校エイト

S	末広 恒一
7	錢谷 刚史
6	竹内 悠
5	高橋 純
4	直原 史明
3	今東 俊雄
2	山田 篤
B	岸本 光洋
C	吉田 亮

<予選>	
1	京都大 1300m
2	同志社大 3'51"67
3	大阪大 3'54"26
4	近畿大 3'57"00
	4'00"11

<敗復>	
1	同志社大 4'05"48
2	近畿大 4'08"00
3	滋賀大経済 4'13"98
4	九州大 4'17"50

<決勝>	
1	東レ滋賀 4'20"38
2	京都大 4'21"95
3	関西大 4'25"16
4	同志社大 4'30"61

今年の関西選手権には特別な思いがあった。それは、朝日レガッタ準決勝敗退という悔しい結果から、とにかく関西NO.1になるという思いと、何よりエイトでの最後のレースということである。

予選は京都大、大阪大などと同じ組であった。スタートダッシュで京都大に出られてしまったが、コ

ンスタートでは粘ることができ、スタート時の差のまま2位でゴールした。敗復にまわった僕達だが、難なく決勝に残ることができた。決勝に残った4クルーの中では、同志社が一番タイム的に遅かった。この試合の目標を達成するためには、前半が勝負だと考えていた。考え方通り500m付近までは、東レなどとほぼ横一線だった。しかし、そこから力の差を見せられ、少しづつ離されていった。結局、4位でゴールした。

結果だけ見ると、4位ということで、去年の成績を下回ったが、2年連続でストロークを漕がせてもらった立場から見ると、今年のほうが船速は確かにあった。何より一人ひとりがレベルアップしているのを感じることができた。現時点での最大限の力を出すことのできた試合であった。

(4回生 末広恒一)

◆舵手付きフォア

S	坂本 暢裕
3	木口 学
2	風岡 洋介
B	宮菌 修毅
C	菅野 浩平

<予選>	
1	岡山大 1300m
2	中電・江津・松江 4'16"62
3	同志社大 4'21"41

<決勝>	
1	岡山大医「天風」 4'23"97
2	滋賀大教育 4'25"45
5	大阪大 4'30"01

<敗復>	
1	岡山大医「天風」 4'31"88
2	山口大「羅漢」 4'43"29
3	同志社大 4'44"62

<決勝>	
1	三洋電機滋賀 4'46"92
2	龍谷大 4'49"53
3	滋賀医科大 4'54"70

<敗復>	
4	神戸大 5'12"01

岡山大医学部にスタートから出られ、そのまま2艇身差で負け、力の差を感じさせられてしまった予選、そして、ラストスパートで山口大に抜かれ、最下位でゴールした敗者復活、2000年の関西選手権

は惨敗だった。

しかし、この試合でクルーの5人は、とても情けない思いをした。この試合を過去の負けた試合のひとつとするか、それとも発奮材料として心に留めるかで、1年後の結果は変わるはずだと思う。

(2回生 風岡洋介)

◆ダブルスカル

S 毛利 泰紀
B 宮本 健吾

<予選> 1300m

1 NTT滋賀 4'24"67
2 四万十RC 4'36"01
3 同志社大 4'39"10
4 香川大 4'45"70
5 濑田RCA 4'47"67

<敗復>

1 同志社大 4'45"34
2 追手門学院大A 4'50"39
3 月ヶ瀬RCA 5'12"52
4 京都大B 5'14"55

<準決勝>

1 立命館大A 4'35"22
2 膳所高校B 4'39"64
3 膳所高校A 4'45"20
4 同志社大 4'46"09

<決勝>

1 NTT滋賀 4'27"63
2 立命館大A 4'29"88
3 BOMBERS 4'35"65
4 香川大 4'54"84

◆女子シングルスカル【2位】

木村 理恵子

<予選> 1300m

1 木村(同志社大) 5'13"00
2 土岐(龍谷大C) 5'30"84
3 赤木(岡山大) 5'37"56
4 一藤(四万十RC) 6'08"92

<準決勝>

1 木村(同志社大) 5'30"28
2 三上(立命館大) 5'40"01
3 和下田(四万十RC) 6'03"13

<決勝>

1 浅野(滋賀銀行) 5'32"23
2 木村(同志社大) 5'34"45
3 青山(大津高校) 5'54"45
4 三上(立命館大) 5'58"04

瀬田杯

2000/7/28~30 《琵琶湖》

◆舵手付きフォア

S 村井 亮
3 松尾 智之
2 中村 洋太郎
B 堀内 康武
C 赤尾 宣彦

<予選> 1300m

1 京都大 4'24"11
2 同志社大 4'37"59
3 滋賀大教育 4'37"94
4 岡山大 4'44"18

<敗復>

1 滋賀医科大 4'40"71
2 同志社大 4'46"42
3 滋賀大教育 4'51"04
4 岡山大 4'59"69
5 岡山大 5'27"11

<決勝>

1 京都大 4'35"45
2 滋賀大経済 4'41"32
3 大阪大 4'47"57
滋賀医科大 除外
滋賀医科大 除外

午前10時24分、瀬田川漕艇場の1レーンからゴールへ向かう集団は、妥協した時間払いのレースではなく自分自身のモチベーションを持った試合をした。しかし、決勝に行くまで全て1位あがりという中、予選、敗復共に2位で終わってしまい結果を残せなかった。しかし、私達1回生にとっては通過点に過ぎない。決して意味のない試合ではないことは分かっている。

今は、次のことを考えるべきだ。自分の今の技術

に満足しない。勝手な思い入れに偏らない。自分のクルーを冷静に客観視することは、各個人の成長を促すだろう。

(1回生 村井亮)

2 日本大 7'04"44
3 早稲田大 7'06"56
4 東海大 7'24"18

6月に行われた全日本選手権で同志社大学の舵手無しフォアは決勝進出という快挙を成し遂げた。その時私は決心した。今年のインカレはエイトで出場しないでおこうと。関西選手権後、4位になった対抗エイトを舵手付き、舵手無しのフォアに分け、合計6種目エントリーしてインカレに臨んだ。目標は全ての種目で決勝進出である。

インカレまでに全ての練習を終え、やるべき事はやったと自身を持って戸田に乗り込んだ。同志社大学舵手無しフォアは全日本で4位に入ったため、インカレでは優勝候補のひとつに数えられていた。大学のボート部生活で初めての経験である。我々はその事にプレッシャーを感じることなく、戸田での調整に入った。

予選レースのあたりは他に比べると比較的良好、調子は悪いものの2位とは17秒の大差で準決勝進出を決めた。1位で上がったもののクルーの調子があまりにも悪かったので素直に喜べなかった。準決勝では予選の反省を活かそうと話し合い、2位以内でゴールして必ず決勝に進む気でいた。しかし、スタートしてからクルーの調子が安定せず、明治、立命館には頭を抑えられ、東海にもコンスタントで出られた。「まだいいける」B末廣の声を信じて、ラスト500でスパートを入れたのだが、前半の差は挽回できず、結局4位でゴールした。悔しかった…。決勝は必ずいいると信じて疑わなかった。4回生3人はレースが終わったかのように悔しんだ。

順位決定は、ミーティングで作戦を立てなかつた。「力を出し切って漕ぎきろう、ラストはSR40まで上げるぞ」とだけ話してレースに臨んだ。スタート位置に付けた時、様々な事が脳裏に浮かんだ。「泣いても、笑ってもこれが最後だ」と自分に言い聞かせた。スタートし、戸田に来て一番良いスタートができた。同志社は頭ひとつリードを奪った。応援からはオーバーペースにも思える程、前半からとばした。途中立命館に前に出られたが焦ることなく、中央、東経の頭を抑えつつ、第4クォーター残り450で立命館を追うべくラストスパートに入るレートは、今までにない程上がった。SR40オーバ



<予選> 2000m

1 同志社大 7'02"51
2 東京商船大 7'19"37
3 北海道大 7'26"13
東京工業大 除外

<準決勝>

1 明治大 6'53"46
2 東海大 6'57"22
3 立命館大 6'58"14
4 同志社大 7'01"82

<順位決定>

1 立命館大 7'01"28
2 同志社大 7'03"20
3 中央大 7'04"62
4 東京経済大 7'04"93

<決勝>

1 明治大 6'59"28

…。ボート部最後のラストスパートである。しかし、立命館には少し届かず2位でゴールした。準決勝の時程悔しくはなかった。持てる力を出し切れたから。終わった事には悲しさがこみ上げた。10年間続けたスポーツだから…。

順位決定のレースは自分自身納得いくレースができた。陸に上がって皆に「良いレースだった」と言われた。最高に気持ち良かった。クラブのメンバー(女子マネも含めて)全員に感動を与えることができた。主将として最後に最高の仕事ができた。最高の6位を手にすることができた。それだけで私は満足である。本当にボートをやっていてよかった。高校の時、国体で優勝した時よりもそう思える熱い夏の1日だった。ありがとう…。

(4回生 高橋毅)

◆舵手付きフォア

S	今東 俊雄
3	直原 史明
2	岸本 光洋
B	山田 篤
C	吉田 亮

<予選> 2000m

1	東北大	7'15"03
2	北海道大	7'17"45
3	同志社大	7'21"38
4	新潟大	7'26"38
	愛知学泉大	棄権

<敗復>

1	一橋大	6'57"57
2	同志社大	6'59"11
3	名古屋工業大	7'11"81
4	山口大	7'24"35

<決勝>

1	中央大	6'27"18
2	明治大	6'34"99
3	龍谷大	6'35"66
4	東京経済大	6'35"88

私達は予選で負け、敗者復活でも負け、何も結果を残すことなく夏が終わった。大会が終わり、の中に残ったものは悔しさだけだった。「私は今まで何をしてきたのだろう?」「苦しい練習に耐えてき

た結果がこれなのか?」たくさんの問い合わせ頭をよぎっていた。スポーツの世界は結果を出さないと意味がない。いくら一生懸命がんばったと言っても、人は結果しか見てくれない。私は今までの試合でこんなに悔しい思いをしたのは初めてだった。こんな思いは二度としたくない!どこまでやればトップを狙えるかは分からぬが、この悔しさがある限り、どんな苦しい練習にも耐えぬく自信がある!勝つて得るものよりも、負けて得るものの方が多い。今回のインカレは自分をより大きなものへと成長させてくれた。

(1回生 今東俊雄)

◆舵手なしペア

S	坂本 譲裕
B	木口 学



<予選> 2000m

1	中央大	8'08"19
2	明治大	8'11"85
3	同志社大	8'16"14
4	立教大	8'42"44
5	金沢大	9'06"76

<敗復>

1	東京商船大	7'52"11
2	同志社大	7'53"76
3	東京工業大	8'14"26
4	日本体育大	8'27"41

<決勝>

1	北海道大	7'18"80
2	日本大	7'19"80
3	龍谷大	7'28"01

4 明治大

7'36"06

◆舵手付きペア【5位】

S	風岡 洋介
B	宮薗 修毅
C	菅野 浩平



<予選>

2000m

1	日本大	7'53"26
2	早稲田大	8'07"24
3	同志社大	8'26"64

慶應大

失格

<順位決定>

1	同志社大	8'48"96
2	島根大	8'53"62

<決勝>

1	日本大	8'12"81
2	早稲田大	8'19"26
3	北海道大	8'27"38
4	一橋大	8'29"76

予選の相手は早稲田、慶應、そして全日を制した日大とインカレ初挑戦の僕等にとって充分すぎる相手だった。大会の3日目から泣いても笑っても2日しかない。体格でも経験でも圧倒的に負けている僕等は、何とか1000mまで日大についていこうという目標をたてた。バランスに不安を抱えていたが、スタートは失敗することなく、レートも38ぐらい出て、その後コンスタントに落としても36で漕いでいた。1000mまでついていくのが目標なので、出し切るつもりでいたので、地力

に勝る日大、早稲田には及ばなかったが、なんとか3位で1000mは通過したが、結局、ゴール前で慶應にもかわされ4位で順位決定にまわることになった。

順位決定戦は、さすがにインカレ最終日だけあって、ものすごいプレッシャーと緊張の中にいた。相手は慶應が失格になったので、島根とのマッチレース。スタートから相手の先頭に立ち、主導権を握っていく。5位になって賞状を貰おう、と心に決めた。予選のスタートも悪くなかったし、今まで苦しい練習をしてきたから絶対に勝てる。いや、勝たなければいけなかった。レースは予選で自信をつけたスタートで島根を引き離し、その後も差を詰められることなくゴールした。結果は8艇中5位であるが、正直嬉しかったし、今後の練習への励みにもなった。そして、未熟な僕等を支えてくれた先輩や同級生、そしてこの機会を与えてくれた監督、コーチ、主将に感謝したい。

(2回生 宮薗修毅)

◆ダブルスカル

S	毛利 泰紀
B	宮本 健吾

<予選> 2000m

1	北海道大	7'30"24
2	兵庫大	7'33"59
3	同志社大	7'35"37

4 慶應大

5	東北大	8'03"55
6	島根大	8'22"63

<敗復>

1	慶應大	7'27"04
2	東京都立大	7'33"48
3	東京外国語大	8'08"65

同志社大

棄権	
----	--

<決勝>

1	日本大	6'46"64
2	明治大	6'47"74
3	日本体育大	6'51"68

4 茨城大

7'36"06

◆女子シングルスカル【3位】

木村 理恵子



<予選> 2000m

1 木村 (同志社大)	8'49"01
2 前本 (東京経済大)	8'56"68
3 藤田 (龍谷大)	9'20"78
4 青木 (東京水産大)	9'28"14
5 瀬田 (名古屋大)	9'40"98

<準決勝>

1 木村 (同志社大)	8'32"25
2 本島 (学習院大)	8'44"07
3 藤田 (龍谷大)	8'52"07
4 千葉 (東北学院大)	8'57"27

<決勝>

1 佐藤 (日本大)	8'40"59
2 辻野 (高松大)	8'47"51
3 木村 (同志社大)	8'49"29
4 門馬 (江戸川大)	8'50"72

今回のインカレは昨年の3位を上回らなくてはいけないというプレッシャーを抱えての試合であり、表彰台に立つことを最低目標と決めていた。

予選、準決勝共にスムーズな勝ち上がりができ、決勝はやはり予想通りのメンバーが残っていた。佐藤さん(日大)、辻野さん(高松大)には昨年も負けている。門馬さん(江戸川大)にも全日本選手権の予選で負けている。タイム的にはほぼ互角だが精神的に辛かった。

レースは得意のスタートで出れたが、500mを過ぎて佐藤さんに抜かれ、800m過ぎには辻野さんに抜かれた。1000mを過ぎて、もうここでやめたい

という思いが私を襲ったが、伴走して私の名前を呼んでくれるみんなの声に後押ししされて足蹴りを入れる。最後300mはホッとしたというのが第一の感想。

表彰台に立ったとき、私は一年間自分のやってきた練習が決して間違っていなかったと嬉しかった。「あー、この一瞬の為に毎日辛い練習に耐えてきたんだ」と知った。けれども、上には上がいる。来年は今年以上にプレッシャーがのしかかってくる。今まで以上の練習をし、もっと直さなくてはいけない問題点を解決し、来年はもっと台の高い所へ立ちたい。

(3回生 木村理恵子)

琵琶湖レガッタ

2000/9/23~24 《琵琶湖》

◆舵手付きフォア【3位】

S 直原 史明
3 毛利 泰紀
2 木口 学
B 今東 俊雄
C 鳥井 淳



1 同志社大	3'28"10
2 東レ滋賀	3'31"70
3 龍谷大・瀬田RC	3'34"31
4 京都大B	3'50"21

<決勝>

1 東レ滋賀	3'11"63
2 NTT滋賀	3'14"30
3 同志社大	3'14"84
4 立命館大	3'19"18
5 龍谷大・瀬田RC	3'23"97

◆ダブルスカル【6位】

S 風岡 洋介
B 宮薙 修毅

<予選> 1000m

1 和歌山選抜	3'39"98
2 京都大B	3'42"98
3 同志社大	3'45"98
4 京都大C	3'52"08

棄権

<決勝>

1 京都大A	3'16"19
2 龍谷大	3'19"95
3 和歌山選抜	3'20"92
4 瀬田漕艇俱楽部	3'21"21
5 京都大B	3'43"03
6 同志社大	3'43"61

京都レガッタ

2000/10/1 《琵琶湖》

◆舵手付きフォア【4位】

S 村井 亮
3 松尾 智之
2 中村 洋太郎
B 堀内 康武
C 菅野 浩平

<予選> 1000m

1 トヨタ自動車B	3'13"45
2 同志社大	3'26"39
3 龍谷大	3'33"14
4 京都大B	3'38"36

棄権

<決勝>

1 トヨタ自動車A	3'08"02
2 トヨタ自動車B	3'08"02

3 京都大C	3'12"53
4 同志社大	3'23"84
5 龍谷大	3'26"35
6 KURC OB	3'29"51

◆ダブルスカル

S 風岡 洋介
B 宮薙 修毅

<予選> 1000m

1 48年会	3'07"89
2 BOMBERS	3'30"75
3 同志社大	3'44"19
4 瀬田RC Q	3'49"28
5 ゲキサルRC	3'51"07

<敗復>

1 ゲキサルRC	3'33"35
2 瀬田RC Q	3'33"72
3 ちょこつとうれ	3'37"19
4 同志社大	3'43"80
5 京都大	3'47"06

<決勝>

1 48年会	3'04"74
2 BRABUS	3'17"53
3 BOMBERS	3'21"90
4 NTT滋賀	3'22"45
5 瀬田RC Q	3'27"82
6 ゲキサルRC	3'34"93

◆女子シングルスカル【優勝】

木村 理恵子

1 木村 (同志社大)	3'55"38
2 土岐 (龍谷大)	4'04"64
3 吉本 (インテック)	4'08"86
4 井上 (京都教育大)	4'12"84
5 秋山 (北漁会)	4'13"35
6 藤居 (大丸京都)	4'20"80

全日本新人選手権

2000/10/6~8 《長良川》

◆舵手付きフォア【3位】

S	直原 史明
3	毛利 泰紀
2	木口 学
B	今東 俊雄
C	鳥井 淳

<予選> 2000m

1	同志社大	6'42"51
2	東京大	6'52"07
3	新潟大	6'59"19
4	名古屋大	7'08"36
5	金沢大	7'21"72
6	一橋大	7'38"02
7	北海道大C	8'01"32

<準決勝>

1	同志社大	6'50"30
2	東京大	6'58"31
3	明治大	6'58"73
4	東京経済大	7'00"79
5	北海道大A	7'01"48
6	大阪大	7'09"24

<決勝>

1	立命館大	6'41"18
2	立教大	6'43"68
3	同志社大	6'44"15
4	明治大	6'50"72
5	東京大	6'53"94
6	東京経済大	6'59"22
7	日本大	6'59"94
8	新潟大	7'08"68

11月6・7・8日に、岐阜県の木曽三川公園コースで第41回全日本新人選手権が行われた。この大会は、僕にとってかなり貴重な経験になった。

クルーを組んだのは約1ヶ月前。しかも驚くことにCOXはボート経験約4ヶ月、COX経験はないの前代未聞。僕はクルーリーダーを務めていたが、どうなることかと不安でいっぱいだった。しかし、とりあえずやるしかないと思い、しんどい練習をす

ることによって自信をつけた。

そして予選。厳しいことに、上がりは7の1上がり。情報では、東大が速いということで東大狙いでいた。スタートからガンガンいこうということで、予定通りスタートは出た。そのままどんどん離し、1位でゴール。僕は喜しくて思わず手をあげてしまった。レース結果を見ると、な、な、な、なんと予選タイム1位。僕はここで「これは優勝できるかもしれない」と密かに思い燃えていた。準決勝もなんなく1位で上がり、とうとう決勝進出。

決勝。僕はいつも以上に緊張していた。しかし、ここまで来たのだから全てを出し切ろうと思った。自分のために、みんなのために、そして同志社のために…。スタートはまたしても出た。そして、1000mまでは1位で行っていた。僕は何が何でもキープしてやろうと思い頑張っていたが、1250mで立命に出られた。そして、1750mでは、立教に出られた。まだ行けると思いスパートでは、渾身の力を振り絞った。しかし、ばたついてしまい、結果は3位。ゴールした瞬間、体の力が全て抜けた。悔しいというよりは全て終わってしまったという感じだった。優勝できなかったのは残念だが、僕は3位でも満足している。なぜなら、色々な面で自分が成長できたように思うからだ。そしてなによりこのクルーによって、楽しく漕ぐことの大切さを改めて教わった。これからも楽しくボートを漕ぎたいです。最後に、僕達を支えてくれた方々にお礼を言いたいと思います。ご期待にはそえなかつたかもしれません、本当にありがとうございました。

(2回生 直原史明)

加古川レガッタ

2000/11/3~5 《加古川》

◆対校エイト【優勝】

S	直原 史明
7	今東 俊雄
6	竹内 悠
5	坂本 輝裕
4	木口 学
3	岸本 光洋
2	松尾 智之

B 毛利 泰紀

C 鳥井 淳



<予選> 2000m 弱

1	同志社大	6'05"35
2	滋賀大経済	6'10"71
3	岡山大	6'29"23

<準決勝>

1	同志社大	6'11"83
2	龍谷大	6'20"20
3	大阪市立大	6'27"70
4	神戸大	6'35"14

<決勝>

1	同志社大	5'52"03
2	瀬田連合	5'53"48
3	滋賀大経済	6'02"21
4	龍谷大	6'06"17

台風のおかげで最初の日がつぶれ、川の様子があまりにもひどかったので、「これは中止だろ」と囁かれ始めて士気がなんとなく下がっているようと思えたのが、実際に行われた予選の前日、予選当日、コックスとして自信があるでなかつた僕は正直しんどかった。そういうふうに思っていたから、案の定、失敗の連続で上手くいかなかつた。

予選は1位で抜けたけど、今ひとつ喜べない。次の日、準決勝。ここでもうまくやろうとしたが、やっぱり失敗。おもしろくない。そしてよいよ決勝。瀬田連合がスタートで前へ出て、1000mで差が、水が開くくらいになつた。龍谷に勝つことを考え始めた時、毛利さんが瀬田連合との差が縮まって

いることを教えてくれた。それ以降、僕や他の漕手達も活気づいたように思う。本来なら自分がやるべきことだったから、残念だった。次にスパートをかける位置を考えた。ゴールまで500m。迷ったけどスパートをかけ、結果、勝つ。さして勝つ、これは僕がコックスをやっていく上で大きな財産になると思う。今は、勝たせてもらうコックスだけど、いつか勝たせるコックスになりたい。

(1回生 鳥井淳)

◆新人舵手付きフォア【2位】

S	村井 亮
3	宮薗 修毅
2	中村 洋太郎
B	堀内 康武
C	菅野 浩平



<予選> 2000m 弱

1	同志社大	7'20"60
2	鳥取大	7'25"48
3	茨城大	7'29"52

<準決勝>

1	大阪大	7'10"44
2	同志社大	7'11"55
3	京都大 A	7'19"44
4	京都大 B	7'35"22

<決勝>

1	広島大	6'47"69
---	-----	---------

2 同志社大	6'56"83
3 大阪大	7'00"89
4 鳥取大	7'14"72

この試合で優勝することの難しさを知った。僕ら新人フォアは、今までに行われてきた京都レガッタ、琵琶湖レガッタを他大学の上回生が乗る艇にも互角以上の試合ができていたので「新人クルーだけの中であつたら勝てる」という自信が僕らのクルーの中に芽生えていたと思う。予選、準決勝と順調に勝ち上がって迎えた決勝。予選1位通過の広島大学は速かった。スタートで差をつけられ追走するも、距離はジリジリと開いていった。その実力差は大きかったと思う。500~1000mの間は阪大との壮絶な2位争い。COX菅野さんの的確な指揮の下で、ラスト300m位で阪大に水をあけ、そのままゴール。試合が終わって思ったこと、それは、1位広島大学は僕らよりも1つ上のレベルであった。漕手の力では、阪大とほぼ互角であった。関西で1位になれて初めて、全国への道を歩めるのだと思う。まだまだである。

(1回生 中村洋太郎)

2000年度会計報告

収入の部

前期繰越金	2 4, 1 7 2
受取利息	3 2 4
学友会預託金	1, 1 4 2, 0 0 0
寄付金（同志社艇友会）	7, 1 2 8, 4 9 8
個人負担金	7, 0 7 2, 0 0 0
特別収入	1, 9 9 7, 1 0 4
入部金	1 0, 0 0 0
部費	1 7 6, 5 0 0
合計	1 7, 5 5 0, 5 9 8

支出の部

維持費	2, 0 1 6, 9 7 9
医療費	6 6, 5 8 4
遠征費	3, 0 4 9, 6 2 5
合宿費	4, 1 0 4, 9 6 8
記念費	3 1 2, 0 1 0
交通費	7, 8 8 0
試合費	6 8 8, 4 0 1
事務費	1 4, 3 6 1
什器備品費	1 6 5, 4 1 7
出張費	1 0 2, 7 0 8
涉外費	3 8, 6 0 5
情宣費	1 0 6, 7 8 4
消耗品費	5 3, 9 3 1
通信費	5 3 7, 8 3 6
資料費	4 6, 8 9 0
手数料	1 6, 3 4 2
特別支出	1 9 7, 3 0 0
用具購入費	3, 9 4 2, 4 8 6
練習費	5 1 9, 3 1 8
連盟費	8 2, 0 0 0
次期繰越金	1, 4 8 0, 1 7 3
合計	1 7, 5 5 0, 5 9 8

卒業生の言葉

前主将 高橋 翔

商学部

大谷高校（京都府）出身

現役時の身長：181cm 体重：73kg



4年間様々なことがあった。期待、不安、挫折、それらのこと全てを乗り越えて、最後に残ったのは楽しい思い出だけだった。後輩達には常に言ってきた「継続は力なり」。継続することは大変なことがある。しかし、続けた先には必ず最高の世界が待っている。最高の世界だった。心からそう思える。

今回私は主将として大変なことをしたと自分でも思っています。同志社大学110年の伝統であるエイトでインカレ出場をしなかったわけですから。しかし、私は間違ったことをしたとは思っていません。むしろ後輩達にとって最高のレールを引けたと思っています。偉そうなことを言って、たいした結果を残すことはできませんでしたが、私自身は今回の結果はある意味満足いっています。私の果たせなかつた日本一の夢は、必ず後輩が果たしてくれるはずです。エイトがボートの全てではありません。無しフオアだらうと、ペアだらうとボートはボートです。そのことを分かっていただきたい。多大な寄付の下エイトを買って下さったことには感謝しております。全てはエイトで勝つための布石だと思っていただきたい。どんな種目であろうと順位をつければ、歴史に同志社の名前が残ります。我々は勝利を目標にやるのです。2日目（敗者復活）で夏を終えるために、今までボートを続けたわけではない。勝利を目指し、勝つことを夢見て、今までボートを続けてきました。

私は北谷主将からボートを楽しむ姿勢を思い出させてもらった。私が後輩達に伝えたかったことは「勝利への意欲、執着心」である。楽しむ心を忘れずに勝利を目指せ。それさえ心掛けていれば、安定した力は手に入るはずである。「大事なのは昨日までの110年ではなく、今日から始まる明日をどう生きるかだ」。常に私自身に念じてきたことです。これから後の後輩達の活躍を期待します。信念を持って何事にもくじけるな。自分自身を正しいと信じ、新しい同志社ボート部を築いていけ。それができれば必ず強くなれるはずである。

最後に同回、後輩達へ（もちろん女子マネも）。君達のおかげでここまでやれた。時には笑顔でバカなことをやり（ビバ！！）、時には修羅のような形相で平手打ち（今東、木口）。まるで2つの人格があるような主将に、みんなよくついて来てくれた。同回には風呂場で喧嘩する裸の会計と怒った学連がいれば、その横で体を洗う泡まみれの主将がいて、喧嘩を止めもせずマネ部屋のドアを閉める無責任な主務がいる。そんなことには興味無しという感じの副将がいれば、専門学校帰りで興味津々の対抗コックス。そんな個性的な部員達と過ごした4年間は、私の最高の財産となりました。本当にありがとうございます。

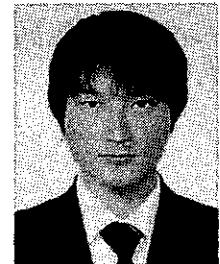
田中へ、こんなもんはどうだろう。日本一には届かなかったけど、全日本で4番、6番、国体で5番、7番です。目標は後輩達が達成してくれるはずでしょう。これからも見守ってあげて下さい。

前主務 錢谷 剛志

工学部・物質科学工学科

札幌月寒高校（北海道）出身

現役時の身長：180cm 体重：70kg



様々な出来事や出会いがあったボート部での4年間は、本当に充実していました。ボート部からはなれた現在の生活は、何か物足りなさを感じます。

主務としては異例で、漕手も兼任してやってきたので、いろいろと問題が多く、皆には本当に迷惑をかけたことだと思います。初めての試みということもあり、不安がいつも付きまとひ、練習をしていても100%集中できずに悩んだ時期もありました。しかし、漕ぎたくて漕げない期間があったからこそ、ボートを漕げるという喜びを、誰よりも味わうことができたと思います。現役の皆さん、日々のモーションを大切にして下さい。そして、安全に対する意識を今まで以上に、高く持って下さい。

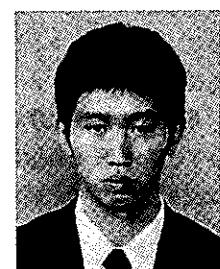
最後に、役不足な私を多岐にわたり指導して下さいました山口監督、宮崎コーチ、岡本先生、先輩方、そして同回のみんな、本当にありがとうございました。

前副将 末廣 恒一

文学部・社会学科・産業関係学専攻

宇和島東高校（愛媛県）出身

現役時の身長：176cm 体重：68kg



自分自身、あまり過去を振り返るのは好きではないが、今回、力漕の原稿を書くにあたって自分のボート人生を振り返ってみたいと思い、以下の内容にしました。

私がボートを始めたのは6年前の夏である。その頃、私は大きな目標を失い、失意のどん底にいた。何をするにも気持ちが入らず、生きていることすら無駄に感じるほどの状態であった。今考えると考えすぎの部分もあったように思う。そのような状態で始めたのがボートだった。とにかく何も考えずに一生懸命打ち込めるものが欲しかったからである。しかし、その何も考えずに始めたボートのおかげで、素晴らしい仲間と自分なりに満足できる幾つかの戦績を残すことができた。もちろん、同志社大学のボート部に入れたことも、自分にとっては喜ばしいことであり、大きな人生の転機だったと思う。大学進学を全く考えていなかった私にとっては意外な進路だったからである。しかし、この同志社大学でボートを漕ぐことのできた4年間は私の今までの人生において、最も価値のある時間だった。満足のいく戦績はほとんど残すことができなかったが、戦績以上のものを多く得ることができた。特に、最後の大学選手権で、みんなの流した涙は一生忘れることはないと思う。おかしなもので、今振り返ってみても、勝った試合や楽しかったことよりも、負けた試合や苦しかったことの方をよく覚えている。ただ、何よりボートをやって良かった、幸せだったと思えるのが私の素直な気持ちである。

最後になりますが、私達が当たり前のことにボートを漕ぐことができる環境を作つて下さった岡本部長、監督、コーチ、先輩方には本当に感謝しています。

そして、後輩達には、何より田中範興君の事故を忘れずに、安全に努めてもらいたいと願っています。

その上で、4年間という限られた時間の中で、自分の納得のいく成果を残してもらいたいと思っています。

前学連 井口 順太

経済学部
桜美林高校（東京都）出身



引退して半年近く経つが、今でもボート部時代のことは鮮明に思い出すことができる。初めてボートに乗った時のこと、初めて試合に出た時のこと、最後のインカレの試合などはっきり覚えている。同志社に入学した時、僕は二年に及ぶ浪人生活の疲労感と第一志望に落ちた絶望感で精神的に疲れ果てていた。しかし、先輩に「自分を高めたかったらボート部に来い。」と勧誘された時、目の前が一瞬明るくなったような気がした。もう一度何かに挑戦できると思ったときの嬉しさは今でも覚えている。それから4年近く多くの出来事があった。全日本で準決勝まで残ったこと、学連として大会をいくつも運営したことなど、多くのことをここで学ばせてもらった。貴重な時間を割いて僕らの面倒を見て下さった山口監督、宮崎コーチ、OBの方々そして苦楽を共にした仲間にここでお礼を言いたい。本当にありがとうございます。そして、同期の田中と最後までやれなかったことは非常に残念なことであるし、彼の分も僕らが生きていかなければならないと思っております。

最後に後輩達に僕の好きな言葉を送ります。「力を尽くして狭き門より入れ。」決して妥協しないで下さい。あくまで目標は大きく、そしてそれを現実にして下さい。応援しております。（僕も何かと来年は良い報告ができるように頑張るつもりです。）

前会計 宮本 健吾

工学部・電気工学科
白陵高校（兵庫県）出身
現役時の身長：187cm 体重：88kg



この道を行けば

どうなるものか

毫ぶむなけれ

毫ぶめば道は盡し

漕ぎ出せば

その一漕が道となり

その一漕が志となる

速わす進み

そして栄光を摑め

宮本健吾



田中 篤興

文学部・文化学科・文化史学専攻
富山第一高校（富山県）出身



吉田 亮

法学部・政治学科
奈良学園高校（奈良県）出身
現役時の身長：174cm 体重：55kg

ここに二枚の写真がある。一枚は丸みとした顔つきで、腕や肩に筋肉の膨らみが見られる。もう一枚は顎がこけていて顔に丸味がない。体つきも華奢な感じがする。「漕ぎたい」。その思いでボート部に入ってくる。どこかに限界があり、どこかで越えられない壁に当たるかもしれない。そんな不安を抱きながら。それでも漕ぎたいんだ。今までとは違う自分を発見し、今までとは違う世界で生き抜いてみたかったから。目標は対抗エイト。いや、対抗エイトの「整調」だ！！…

4回生の夏、私は対抗エイトの整調と向かい合っていた。毎モーションはじめ、Coxはクルー全員に問いかける。「All men 用意はいいか。バウ、2番…」各シートから返事が返ってくる。そして最後は決まっている。「整調」。その声に対して返事をするのは本来なら私のはずだった。しかしそれに応えたのは「彼」だった。そこには私ではなく「彼」がいた。彼の返事で私は現実に戻る。彼は私ではなく、私は彼ではないんだ…。

冒頭の写真。前者は2回生の6月、中日本レガッタでの写真。まだ漕手だった私は筋トレとプロテインの日々。後者は4回生の関選、私は対抗エイトのCox。食事をカロリーメイトでしのぐ日々。二枚の

写真を比較すると明らかに違うところがふたつある。ひとつは前述のとおり、後者の方がやせ細った体つきであること。もうひとつは、後者の方が自信に満ちた表情をしていること。4年目の風格か。それともCoxとしてのプライドか。いずれにせよ、青春に体重なんて関係ない。2年間で落ちた筋肉は、その形を夢と感動に変えて伝統の同志社クルーを走らせていたに違いない。勝利への願いを乗せて走らせていたに違いない。…そう信じたい。

最終学年になるまで、「漕手のためにCoxをやってあげてる」、そんなふうにしか考えていなかった。一体自分は何様のつもりだったんだろう。最後の1年、そんな考えは消え、自分のために、自分の成長のためにやろうと思えるようになった。ボートが楽しくて楽しくて、強いクルーを作りたかった。その想いが頂点に達したとき、私は引退の時を迎えた。

引退して半年。もう食事をカロリーメイトで済ますことはなくなった。体重も順調に右上がり。自由に生きる中で、ふと合宿所のことを考えると、そこはもう、まるで別世界かのように思えてくる。しかし、そんな今でも瀬田や戸田での数々の感動のレースが、脳裏に焼きついて離れない。

マネージャー・統制 菊山 峰子

法学部・法律学科
同志社女子高校（奈良県）出身



よく過去を振り返るとき「つらかったことも今では全てがいい思い出」といいますが、私がボート部で過ごした日々をこう表現できるようになるのはもう少し時間が必要なようです。自分の中でこの三年半を納得し消化するのは、現役時代に考えていたより簡単ではなさそうです。

大学一回生の春、試乗会でエイトに乗せてもらったときの感動が忘れられず、ボート部でマネージャーをしようと決心してから最後のインカレまで、月日は本当に早く過ぎました。特に最後の一年はあつという間で、これほど内容のある充実した毎日はこれまでに味わったことがなかったように思います。人生において貴重な大学時代にボートという競技と出会い、マネージャーとして関わる中で、大切なことをいくつも学びました。だから、この三年半を後悔する気持ちはありません。ただ振り返るとそこには、練習やレースを見るたび、目標に向かって一生懸命頑張っている人の持つ強さや輝きを目の当たりにして、一種のうらやましさを感じていた私がいるというのも正直な気持ちです。今まで経験したことのないマネージャーという立場やその仕事に戸惑い悩みながらの三年半、果たして自分も彼らと同じものを持ちえていたのか、そして自分はどれだけボート部に貢献できたのか…。

ただ疑いようのないことは、私のこの三年半は本当に多くの人に支えられてきたということです。いつもボート部のことを気に掛け応援して下さるOBの方々、優しく指導して下さった先輩方、頼りない私を助けてくれた後輩の皆さん、いつも私達を見守ってくれている田中君、そしてどんな時も常に私のパワーの源であり尊敬すべき存在であった同回のみんな、心から感謝しています。ありがとうございました。

マネージャー・広報 津田 弥紀

文学部・英文学科
智弁和歌山高校（和歌山県）出身



昨年、私は「力漕」の中で、「このボート部にいるのは何故なのか。一体何を求めているのか。」と書いている。その後の半年が過ぎ、ボート部を引退し、改めて考えてみた。ボート部にいながらボートを漕いだこともなかった日々。マネージャーという仕事に対する疑問と誇りの矛盾。だが、この3年半の月日の中で、私は成長できたと思う。入部に際して「どんなマネージャーになりたいか」と尋ねられたときの答えと、今の私の答えは大きく違う。その答えは、私の3年半が見つけ出したもの。そしておそらく、我だけの答え。それを見つけるために、全力投球を繰り返したのだ。これは、マネージャーであれ、漕手であれ、同じことだろう。それだけで、この3年半は価値があったと思う。

後輩達へ。これから、何度も悩み、何度も戦わなくてはならないと思います。けれど、途中で投げ出しても答えは見つからないはず。残りのボート部の時間を大切に使い、自分なりの答えを見つけ出してください。

最後に、私を見守り、支えて下さった数多くの先輩方、後輩達に、心より感謝致します。そして、悲しい出来事もあったけれど、共に3年半を乗り越えてきた同回生のみんなにお礼を言いたいです。

マネージャー・艇友会 中嶋 紗恵子

法学部・法律学科
京都女子高校（京都府）出身



クラブのことばかり考えていた三年半という長い月日は、引退してから少しずつ、しかし確実に遠い世界へと遠ざかっています。そんな思い出の中でも、決して色あせることなく鮮明に思い出されるのが、田中範興君を亡くしたあの日のことです。あれから何度も季節が巡っても、田中君の死を現実として受け止められず、無事であって欲しいと祈ったあの日の気持ちにスリップしてしまいます。それでもあの日から三年間、最後の夏に戸田で勝つために私が出来ることは何でもやろうと必死になりました。ボートを愛し、このボート部を愛しながらも、志半ばでその人生を終わらせなければならなかつた田中君に、必ず「やったよ！」と笑顔で報告するために。くじけそうになった時はいつでも田中君のことを思い出しました。あれから無事引退まで活動を続けてこれたのは、いつも田中君が私達の側にいて、守ってくれたからだと思います。そんな田中君に私は何をしてあげられただろうと考えると、自分の無力さを痛感せざるをえません。

後輩の皆さん、私達が引退しても安全に対する意識を風化させないで下さい。事故を経験していない皆にとって、ボートが人の命を奪うような危険なスポーツであるとは考えられないでしょう。事故の後私達が取り組んできた安全対策が、どれほど価値のあるものなのかも実感が湧かないと思います。しかし、自分達の意識の甘さが原因で大切な仲間の命を奪ってしまう、こんな事は二度とあってはなりません。競技としてボートを漕いでいる以上、成績にこだわり、練習の機会を一日たりとも無駄にしたくないという気持ちは分かります。でも当たり前のように毎日を共に過ごしている仲間の命の尊さ、その人

を愛する周りの人達のことを思い、時には乗艇をやめる判断をする勇気を持って下さい。同志社大学ボート部がこの先永遠に悲しい事を起こさず、瀬田で、戸田で大活躍することを祈っています。

最後になりましたが、これまで様々な面で私達を支えて下さった岡本先生、歴代監督・コーチ、先輩方、そして田中君の御両親にこの場を借りて心から御礼申し上げます。本当にありがとうございました。この三年間私の背中を押してくれた田中君に恩返しするためにも、この先もずっと彼のひたむきな情熱と純粋な笑顔を胸に、一生懸命生き抜いていこうと思います。



特集



主務に聞こう。

今回は、主務・山田篤君が部員からの質問に答えるという企画を組んでみました。質問を通して、彼が普段あまり見せることのない一面を探るのが目的です。同志社大学ボート部に関わる人々が、主務である彼を知ることにより、少しでもクラブの現状を把握する手がかりになれば…と思ったわけではなく…じつは正直なところ、もっと軽い気持ちではじめた企画です。どうぞ気軽にお読みください。

- | | |
|---------------------------------|---|
| Q. 主務はどういった仕事をするのですか？ | A. 朝食作りから練習のサポート、試合の準備、○Bさんや学校・他校との連絡の取り合いなど、多種多様。 |
| Q. 主務の仕事で難しいと思うことはありますか？ | A. 遠征前の準備や遠征中のみんなのサポートが結構大変だと思いました。 |
| Q. 主務が決まった時とそれ以降の気持ちはどう変化しましたか？ | A. 主務をやるよう言われた時はその責任の重大さに不安になりいろいろ考えましたが、すぐに頭が切り替わり頑張ってやってみようとかという気になりました。いろいろなことを経験できるので自己を見つめ直し、鍛え直すチャンスでもありますからね。 |
| Q. 得意料理は何ですか？ | A. サバの味噌煮とおでん。 |
| Q. 今の一回生（新2回生）に思うことは？ | A. 大変はじめて気が利くなっています。偽善か？と思われるような行動も多々見受けられますが、それでも素晴らしいです。また、練習にも一生懸命取り組んでおり、やる気がこちらにも伝わってきて逆に刺激を受けてしまっています。マネージャーとしてうれしい限りですよ。 |
| Q. 山田主務にとって女子マネとは？ | A. 何でもできるすごい人々。主務、会計、学連だけではカバーしきれないものを全てやってくれていますから、男子マネージャーも安心しています。あなた方は将来立派な女性になりますよ。これからもよろしくお世話になります。 |
| Q. ボート部に入ってよかつたと思う瞬間は？ | A. みんなと飲みに誘われた時、クールな顔をしながらも心中では超うれしい。 |

Q. 野望は何ですか？

A. 日本経済をこの手で動かすこと。
自転車で世界一周すること。

Q. 男気とは？

A. 自分を磨き、そんな自分にほれること。

Q. いい主務の三大条件

いいオトコ　〃
いいオンナ　〃　は？

A. 主務 ①仕事がスピーディーかつ、正確。
②人とコミュニケーションをとるのが上
手である。
③酒に強い。
オトコ①たくましい肉体を持っていること。
②顔をはじめとした「見た目」がかつこ
いいこと。
③謙虚で意思の固い人。
オンナ①料理が好きであること。
②めちゃめちゃ健康であること。
③めちゃめちゃ前向きであること。

Q. 初恋はいつですか？

A. 中2、いや中1だったかな？2回生の夏、久し
ぶりに会ってドキッとしました。

Q. 好みの女性のタイプは？

A. 年上で、ドライブは好きで、料理の好きな人。

Q. 超おすすめドライブスポ
ットは？

A. 北陸自動車道 富山を過ぎて新潟へ向かうとこ
ろ。海がじつに素晴らしい。打ち寄せる波が心
に響く。

Q. 山田さんにとってラーメ
ンとは何ですか？

A. 生命の源。人生の糧。

Q. おすすめのラーメン屋は
どこですか？

A. •華門（祇園）さっぱりとした醤油味がたまら
ない。また行こうと思わせてくれる味。月1
回ペース。
•新進亭（寺町二条）白味噌味ラーメンがとて
も上品で良い。60歳を超えておやじさんは
フルマラソンをしており、なんか見ていたいパワ
ーを感じる。女性におすすめ。2週間に1回。
•中華そばちいふ（堀川御池）あのスープはた
まらない。濃い目の味付けだが後味が良い。2
週間に1度は行く。
•金ちゃんラーメン（北山駅北側）ラーメンも
いいが、から揚げに注目してほしい。ボリュー
ムがあつてうまい。他多数。

Q. オフの日下宿先では3食
何を食べて生活している
のですか？

A. 朝、コンビニ（家の下）のサンドウイッチか進
々堂のパン。理由：近いから。
昼、家の前にあるうどん屋でにしんそば。
理由：店員のお姉さんと仲がいいから。

夜、必ずラーメン。理由：なぜだか食べたく
なるから。食べないとイライラしてくるから。

Q. 尊敬する人物を3人挙げ
その理由を教えてください。

A. 稲葉浩志（B'z）
頭が良くて、かっこ良くて、パワフルで、歌が
うまくておもしろいから。

野茂英雄
自分の右腕だけを頼りに夢を切り開いたから。
本当にすごいと思う。

山口監督
クラブのことを大変よく理解してくれているか
ら。また、話を聞いてすごく楽しくなってくれ
るから。

Q. プライベートな時間は何
をしているのですか？

A. 京都市内のラーメン屋をはしごしたり、家の下
のコンビニで長時間立ち読みしたり、スターバ
ックスコーヒーでひとりそがれたり…。

Q. 山田さん、正直な話最近
どうですか？

A. いつも最高だよ。

主務においてと言うよりもプライベートなところでの山田君を知りたいという質問が
目立ちました。極度のラーメン好きで有名な山田君にちなんで、ラーメンに関する質
問も寄せられ、おすすめの店については個人的に要望があればまだ教えてくれる
そうです。女子マネにもお褒めの言葉をいただき、大変感激しています。こちらこそ
お世話になります。

それにしても、初恋という突っ込んだ質問に答えが返ってくるとは。少し驚かされました。
相手がどんな女性なのかが気になるのは私だけでしょうか…。
早く今回の特集に協力してくれた山田君、そして部員のみなさん、ありがとうございました。

最後は山田君からのO.B.さんと部員に向けたメッセージです。

O.B.さん

日頃は同志社大学ボート部に格別なご支援を賜り、誠にありがとうございます。
110周年を迎えた今年、我々は今までの伝統を受け継ぎつつ、新たなものを積み上
げるべく頑張ってまいります。これからもよろしくお願ひいたします。

部員

いつもご苦労様です。本当ならマネージャーとして僕がみんなの支えにならなければ
いけないので、逆にみんなのひたむきな練習姿勢にこちらが刺激を受けてしまい、自
分の力不足を感じます。みんなの勝利のために、できる限りのことをしたいと思いま
すのでみんなも頑張ってください。

文・井上尚子

伝言板

関東艇友会



2000年8月25日、毎年恒例となっている関東艇友会が銀座スエヒロで行われました。多くの先輩方が出席され、思い出話に花を咲かせておられました。

この関東艇友会で、先輩方が現役部員に向けて、暖かいメッセージを一冊にまとめ、送って下さいました。ここでそのメッセージをご紹介させて頂きます。

<S30年卒 湯川長保先輩>

一步でも良いから前進あるのみ。後退は絶対許さない。

<S31年卒 岩波春喜先輩>
一本一本を大切に。

<S31年卒 竹田和彦先輩>
心技体、自分で鍛えよ。

<S35年卒 横木昌浩先輩>

さらなる飛躍を！！がんばれ！がんばれ！がんばれ！

<S39年卒 赤川雅俊先輩>

不激・不躁・不競・不隨

<S40年卒 西田稔先輩>

エイトで勝てるクルーを創れ。

<S45年卒 新井喜範先輩>

ボートが好きで好きでたまらない人達の集団であるボート部となつてもらいたい。我々は黙つて見守っているだけだが。

<S51年卒 武尾豊先輩>

高い志と、高い目標を！！

<S51年卒 畠 敏先輩>

水の音と共に、楽しく、速く漕いで欲しい。

<S52年卒 萩野義明先輩>

現役諸君、ご苦労様。とにかく頑張れ。すべて自分のために！結果は後輩に託せ！

<S52年卒 中野貴夫先輩>

Thinking Ahead & Row Out ! 終生の名言。楽しめ！

<S58年卒 高山一也先輩>

Winner takes it all

(勝者は全てを耐える！！)

<S62年卒 高橋良明先輩>

社会人になって唯一後悔する事は、「どうして大学4年間で、もっとボートに集中できなかつたのか？できたはずだ。」です。今この一瞬を大事に、一心不乱にオールに集中してみて下さい。

<S62年卒 樋口健一郎先輩>

現役諸君、若い貴重な時間を大切に使って、青春の時間を思う存分に楽しんで下さい。

<H2年卒 坂本龍一先輩>

腹を決めて、自分達のために頑張れば、いい事あるかもネ。

<H2年卒 島田恭典先輩>

過去は気にせず、自分達のために頑張れ！

<H3年卒 津嶋泰先輩>

伝統にとらわれず、「…らしく」頑張って下さい。OBとしてできる限りのサポートをします。“まず1勝”

<H4年卒 功力英俊先輩>

負けて仰いだ青い空。未だに忘れられません。早く負けた悪夢から抜けたいので、日本一期待しています。せめて6分を切るタイムを早く出して、数年前の歴代No.1を変えて下さい。

<H4年卒 谷昌二郎先輩>

振り返ると、本当に短い貴重な4年間ですので、精一杯頑張って下さい。

<H6年卒 堀内昭宏先輩>

「追い求めるのはそう決めたからだ。決めたからにはやるしかない。」

<H6年卒 松城敬先輩>

勝利することを目標に、悔いの残らぬよう頑張って欲しい。

<H6年卒 余谷有紀枝先輩>

なかなか関西には向かうことができず申し訳ありません。（でも遠い所から、応援と艇友会費の振込みはきっちりさせて頂きます。）現役の皆様のやりたいように（でも好き勝手とはちがいますよ）のびのびとやって下さい。自己的のためにやるのだという事を忘れずに頑張って下さい。

<H7年卒 佐伯明先輩>

土・日まで残って下さい。観に行きます。

<H7年卒 小吹悟先輩>

4回生の皆さん、最後まで燃えて、社会人になつてもボートに関わっていて下さい。残る皆さん、信念を持って突き進んで下さい。

<H8年卒 白田圭助先輩>

4回生へ 今までの思いをぶつけ、必死で蹴れ！魂で漕げ！
残りのみんなへ 新入生をたくさん入れて、強い部を作ってくれ。人が資本や！
マネージャーへ 君らがクラブを支えてる！その苦労が、君らを成長させることはまちがいない！

<H8年卒 武田知也先輩>

4で勝てばいい。俺は現役の意見を大切にしたい。

<H9年卒 奥哲史先輩>

社会人となってつくづく思うことは、同志社大学ボート部が私を育ってくれたということです。漕ぎと同じ様に、練習の日々で人格も少しずつ成長していくのではないでしょうか。現役の皆さん、精一杯頑張って下さい。

<H10年卒 竹野内直毅先輩>

応援しているぞ！

<H11年卒 玉置智雄先輩>

僕らの代くらいから部員不足でツライ体制が続いていますが、その分明るく楽しく、ボートをとにかく好きになって下さい。それは、一人一人の気持ち、クラブの雰囲気が一番大事です。まずは体に気を付けて頑張って下さい。

<無記名>

フォアでもペアでも良い。ともかく選選、全日での優勝を勝ち取ること！！選手層を厚く、ともかく今は部員を多く集めること！！リーダーを育てること！！

<無記名>

監督をやっておりました3年間、関東艇友会の皆様の励ましを頂き、涙を流しました。本当にありがとうございました。辛い思い出の多い中で、激しい思い出として残っています。

寄稿

昨年度の「力漕」第7号をお送りしました際に、寄せていただいたメッセージを紹介致します。ご協力して頂きました先輩方に、厚く御礼申し上げます。

<S41年卒 森岡正宏先輩>

佐野閏一先輩（S35年卒）が亡くなられたことを、後になって知りました。このようなことは、早くご連絡をいただければ有難いです。

<S42年卒 桜田東士先輩>

細かいことを言えば、体力や技量など諸条件が要ることはわかるが、それは全国1位だとか、世界で互角に戦うとかいったレベルの話である。

とりあえずそちらの試合（朝日レガッタもその類に過ぎない）で優勝してみせるのに、同志社大学ボート部だけが不利な条件にあるといえるほどのものは何もない。むしろ他にもっと恵まれていないクルーがあるにもかかわらず、彼らは良く頑張っており、用意周到であって、それに比べ自分達はまだまだ至らないと思うべきである。

ただ、前傾し水をつかんで足腰腕を使って水を押すだけのことではないか。サッカーやテニスやゴルフやその他諸々の競技のように天与の才能や運動神経などを持ち合わせていなくても、並のレースなら“どこの誰にでも”十分勝つことができる種目、それがボートだ。

ただ単に、苦しみに耐える辛抱さえできれば、そして個性を活かし、クルーが力を合わせれば“今すぐにも”勝つことができるのだ。そのところをいつになつたら分かってくれるのかなーと首を長くして待っている。

「先輩、ほら勝ちましたよ。勝ってみればなんてことはなかったです。」と誇らしげに言ってもらいたいね。それでこそ若者が若者たる所以だと思うのです。

<S52年卒 萩野義明先輩>

OBへのメッセージ

若いOBの皆さん。試合や総会にもっと顔を出して下さい。皆さんの顔出しの多さが、現役に熱気を与え、そして粘りや執着の土台となるプライドを築くはずです。

現役諸君へ

- ・タイムの目標を明確に持つこと。
- ・一回一回のモーションの狙いを理解し、必ず反省会を持つこと。
- ・人以上のことをやらねば人の上には立てない。これ常識。

お知らせ

2000年度中にお亡くなりになった先輩方です。ご冥福をお祈り致します。

S10年卒 樋口 明先輩

S35年卒 佐野閏一先輩

S21年卒 流郷吉勝先輩

2000年度中にご結婚された先輩方です。

H6年卒 竹内秀暢先輩

H7年卒 大石（旧姓加藤）文穂先輩

H9年卒 伊藤浩史先輩

H11年卒 伊藤（旧姓石田）あづさ先輩

名簿

部長 岡本 博公 (勤) 同志社大学商学部 研究室 075-251-3075
 (自) 〒535-0022 大阪市旭区新森4-6-16

監督 山口 忠博 (勤) 〒520-0801 大津市における浜4-2-12 滋賀県立体育馆 077-521-8001
 (自) 〒525-0028 草津市上笠町4-30-25 077-563-5570

コーチ 宮崎 寿春 (勤) 〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-2 NTT 03-4803-3014
 (自) 〒240-0026 横浜市保土ヶ谷区権太坂3-7-31、2-103 045-731-9618

<卒業生>

井口 順太 <経済学部> 東京都・桜美林高校
 (現) 〒602-8382 京都市上京区今出川七本末西入ル真盛町726-205 075-467-4517
 (帰) 〒229-1132 相模原市橋本台1-13-3 0427-73-8032

末廣 恒一 <文学部・社会学科・産業関係学専攻> 愛媛県・宇和島東高校
 (帰) 〒798-3351 愛媛県北宇和郡津島町弓立225 0895-35-0440

錢谷 剛史 <工学部・物質化学工学科> 北海道・札幌月寒高校
 (現) 〒611-0042 宇治市小倉町西浦16 ショール2-710
 (帰) 〒862-0902 熊本市東本町12-25-21 096-214-6280

高橋 純 <商学部> 京都府・大谷高校
 (現) 〒520-2134 大津市瀬田3-20-21 075-545-6845

田中 篤興 <文学部・文化学科・文化史学専攻> 富山県・富山第一高校
 (現) 〒930-0912 富山市日俣153-8

宮本 健吾 <工学部・電気工学科> 兵庫県・白陵高校
 (現) 〒659-0024 芦屋市南宮町13-3-201 0797-34-5702

吉田 亮 <法学部・政治学科> 奈良県・奈良学園高校
 (帰) 〒634-0845 檜原市中曾司町178-4 0744-24-5809

(現) 〒600-8087 京都市下京区高倉通松原下ル鍾之下町38

菊山 峰子 <法学部・法律学科> 京都府・同志社女子高校
 (現) 〒631-0032 奈良市あやめ池3-7-13 0742-45-2902

津田 弥紀 <文学部・英文学科> 和歌山県・智弁和歌山高校
 (現) 〒611-0027 宇治市羽拍子町84 ポーチ宇治1601 0774-46-6283
 (帰) 〒649-6103 和歌山県那賀郡桃山町野田原467 0736-67-0355

中嶋 紗恵子 <法学部・法律学科> 京都府・京都女子高校
 (現) 〒610-0111 城陽市富野北角1-6 0774-52-1889

<現役部員・新4回生>

菅野 浩平 <文学部・文化学科・教育学専攻> 大阪府・桃山学院大学付属高校
 (現) 〒546-0031 大阪市東住吉区田辺6-7-16 06-6628-5987

岸本 光洋 <文学部・社会学科・産業関係学専攻> 滋賀県・膳所高校
 (現) 〒520-0000 大津市萱野浦9-15 077-543-4516

木村 理恵子 <文学部・社会学科・社会学専攻> 広島県・広島女学院高校
 (現) 〒520-0855 大津市栄町8-25 ポーチ203 077-533-0508
 (帰) 〒739-0553 広島県佐伯郡宮島町515 0829-44-2526

坂本 譲裕 <商学部> 熊本県・熊本学園大学付属高校
 (現) 〒520-2134 大津市瀬田3-2-30 077-545-0702
 (帰) 〒869-1235 熊本県菊池郡大津町室569-1 096-293-2203

竹内 悠 <商学部> 岡山県・関西高校
 (現) 〒520-2134 大津市瀬田3-2-30 077-545-0702
 (帰) 〒700-0016 岡山市伊島町2-2-25 086-255-4363

山田 篤 <法学部・法律学科> 埼玉県・春日部高校
 (現) 〒604-0932 京都市中京区寺町二条下ル妙満寺町441-1 埼玉県行寺町二条402
 075-231-7022-402
 (帰) 〒344-0008 春日部市小渕320-8 048-754-5633

井上 尚子 <神学部> 新潟県・敬和学園高校
 (現) 〒606-8602 京都市左京区修学院南代10 075-724-2539

<現役部員・新3回生>

赤尾 宣彦 <商学部> 岐阜県・大垣南高校
 (現) 〒520-2134 大津市瀬田3-2-30 077-545-0702
 (帰) 〒503-0321 岐阜県海津郡平田町今尾1098 0584-66-3807

風岡 洋介 <法学部・法律学科> 広島県・広島国泰寺高校
 (現) 〒610-0332 京田辺市奥戸塚ノ本69-1-3A-208
 (帰) 〒734-0003 広島市南区宇品東1-1-58-208 082-254-9489

木口 学 <法学部・法律学科> 奈良県・奈良学園高校
 (現) 〒579-8011 東大阪市東石切町6-2-26 0729-82-0228

直原 史明 <文学部・社会学科・産業関係学専攻> 岡山県・関西高校
 (現) 〒520-2134 大津市瀬田3-2-30 077-545-0702
 (帰) 〒701-2142 岡山市玉柏2103-5

宮薙 修毅 <文学部・英文学科> 神奈川県・西湘高校
 (現) 〒610-0313 京田辺市三山木直田10 効ハツ111 0774-63-9550
 (帰) 〒250-0852 小田原市柏山2570-501 0465-38-0741

毛利 泰紀 <商学部> 愛媛県・宇和島東高校
 (現) 〒520-2134 大津市瀬田3-2-30 077-545-0702
 (帰) 〒799-3751 愛媛県北宇和郡吉田町沖上甲2220-1

山本 和博 <文学部・英文学科> 千葉県・八千代松陰高校
 (現) 〒520-2134 大津市瀬田3-2-30 077-545-0702
 (帰) 〒270-1432 千葉県印旛郡白井町富士1-97 047-445-3345

近藤 聰子 <文学部・英文学科> 京都府・同志社国際高校
 (現) 〒520-0801 大津市における浜2-2-5-522 077-521-1297

坂田 美紀 <商学部> 広島県・広島井口高校
 (現) 〒610-0382 京田辺市奥戸郡塚38 モラカイ北尾311 0774-63-4251
 (帰) 〒733-0852 広島市西区鈴が峰町37-1-206 082-277-3088

<現役部員・新2回生>

今東 俊雄 <商学部> 岡山県・関西高校
 (現) 〒520-2134 大津市瀬田3-2-30 077-545-0702
 (帰) 〒702-8266 岡山市湊351-3

鳥井 淳 <工学部・機械システム工学科> 京都府・東舞鶴高校

(現) 〒520-0849 大津市国分2-928-14

中村 洋太郎<経済学部> 神奈川県・生田高校

(現) 〒610-0313 京田辺市三山木野神107 イグレッセ213

(帰) 〒213-0011 川崎市高津区久木3-6-8-105 044-833-7714

堀内 康武 <商学部> 長野県・上田高校

(現) 〒610-0313 京田辺市三山木植田35-4 エニーハイツ中川B-105 0774-63-4275

(帰) 〒386-0151 上田市芳田1914-12 0268-35-2438

松尾 智之 <工学部・エネルギー機械工学科> 兵庫県・報徳学園高校

(現) 〒665-0061 宝塚市仁川北2-10-29 0798-53-3331

村井 亮 <工学部・電子工学科> 滋賀県・彦根東高校

(現) 〒521-1311 滋賀県蒲生郡安土町下豊浦5096-43 0748-46-3025

江崎 祐子 <文学部・英文学科> 和歌山県・向陽高校

(現) 〒610-0332 京田辺市興戸東垣内11-3 エバーグリーン505 0774-63-8495

(帰) 〒640-8423 和歌山市松江中2-2-4 073-453-0844

小谷 裕子 <同志社女子大学・学芸学部・英語英文学科> 石川県・大聖寺高校

(現) 〒610-0313 京田辺市三山木野神107 イグレッセ418 0774-63-9526

(帰) 〒922-0138 石川県江沼郡山中町稻野町ロ-3 0761-78-0312

田中 喜子 <文学部・文化学科・美学及芸術学専攻> 京都府・同志社女子高校

(現) 〒604-8871 京都市中京区壬生朱雀町31 075-841-1948

吉住 香里 <文学部・英文学科> 埼玉県・東和大学付属昌平高校

(現) 〒610-0313 京田辺市三山木直田10 エバーグリーン301

(帰) 〒346-0013 久喜市青葉3-8-3 0480-21-3430

艇友会名簿

今回は紙面の都合上、変更や間違いのありました先輩方、判明した先輩方、H12年卒の先輩方のみ掲載致します。ご了承下さい。(2001年2月4日現在)

S 31年卒 加畠哲夫先輩 (自) 〒604-0000 京都市中京区黒門通蛸薬師下ル439
アトムン四条大宮2-416

S 32年卒 六嶋博司先輩 (勤) 大阪日産自動車(株) 監査役室 06-6449-2008
S 33年卒 庄山章信先輩 (勤) 0776-35-7866

(自) 〒520-0814 大津市本丸町6-8-101 077-527-3250
S 34年卒 大野準一郎先輩 (自) 〒604-0042 京都市中京区押西洞院町622-903

S 38年卒 路次二郎先輩 (自) 〒247-0061 鎌倉市台1882-1 フォルムコート鎌倉台町203
S 39年卒 加野豊司先輩 (勤) 〒569-0822 高槻市津之江1-10-16

摂津信用金庫津之江支店 0726-71-6111
S 40年卒 池田宜郎先輩 (勤) 〒530-0004 大阪市北区堂島浜1-2-6 センター(株)
06-6345-4655

S 42年卒 新美康則先輩 (勤) 075-431-7362

S 43年卒 高橋 潔先輩 (勤) 075-321-9521

S 44年卒 宮城 博先輩 (勤) 〒761-8071 高松市伏石町井手東437 太陽興産 087-867-3567
(自) 〒791-8084 松山市石風呂町226

S 45年卒 高橋 滋先輩 (勤) 06-6281-9003

S 45年卒 清水正俊先輩 (勤) 〒769-0221 香川県綾歌郡宇多津町阿波吉田4001-83
四国松下エナジーステーション 0877-45-4600

(自) 〒769-0207 香川県綾歌郡宇多津町浜7番丁94-2

ソシタリー瀬戸大橋31-2306 0877-41-0387

S 46年卒 鈴木文治先輩 (勤) 03-3213-4411

S 48年卒 小島康正先輩 (勤) 玉美小学校 0729-61-2277

S 48年卒 山口俊郎先輩 (勤) 〒103-8355 東京都中央区日本橋小船町5-1

S 51年卒 湊 良三先輩 (勤) 〒581-0802 八尾市北本町2-1-5 住友銀行八尾支店
0729-97-0011

S 52年卒 馬杉淳一先輩 (自) 〒272-0821 市川市下貝塚2-18-19 047-373-7172

S 53年卒 桶田英俊先輩 (勤) 水岩運送

(自) 〒567-0002 茨木市三島町1-15 0726-27-9232

S 54年卒 木村俊雄先輩 (勤) 大丸京都店

(自) 〒611-0003 宇治市平尾台3-8-8 0774-38-0432

S 55年卒 小関隆一先輩 (自) 〒272-0114 市川市塩焼2-2-2-919 047-398-2618

S 55年卒 水野正成先輩 (自) 〒640-8401 和歌山市福島189-7

S 56年卒 池谷 晋先輩 (勤) 〒060-8528 札幌市中央区南二条東1-1-14

住友生命北海道市場支援部 011-261-7067

(自) 〒004-0032 札幌市厚別区上野二条2-12-5

S 56年卒 荒山元秀先輩 (自) 〒593-8325 堺市鳳南1丁目3-301-9

S 57年卒 永野 巍先輩 (勤) 〒520-0802 大津市馬場1-1-1 大津高校 077-523-0386

S 5 8 年卒 明石逸二先輩 (勤) 〒743-0011 光市光井1-15-20 親和紙器(株)
0833-71-2475
(自) 〒743-0011 光市光井2-9-6 0833-71-2475

S 5 8 年卒 小森進治先輩 (勤) 〒530-0001 大阪市北区梅田1-11-4-1505
(株) 島精器製作所大阪支店 06-6344-0511
(自) 〒599-8121 堺市高松101-6 0722-34-9721

S 6 0 年卒 伊藤 寛先輩 (自) 〒211-0053 川崎市中原区上小田中6-9-1-305

S 6 1 年卒 今井崇雄先輩 (自) 〒520-0246 大津市仰木の里1-11-7 077-574-3741

S 6 2 年卒 奥谷勇人先輩 (勤) 日本生命徳島支社 088-656-5616
(自) 〒770-0807 徳島市中前川町5-1-296-302 088-655-5608

S 6 2 年卒 高橋良明先輩 (勤) 〒103-0027 東京都中央区日本橋1-15-4 サンエイタストリアル(株)

S 6 3 年卒 佐藤 宜先輩 (勤) 〒386-0405 長野県小県郡丸子町中丸子810-2 丸子実業高校
0267-42-2827
(自) 〒389-0503 長野県小県郡東部町新屋207-1-302

S 6 3 年卒 星沢慎二先輩 (勤) 大丸京都店 075-211-8111

S 6 3 年卒 原 一雅先輩 (自) 〒656-0051 洲本市物部1-15-64

H元年卒 大島昭子先輩 (自) 〒520-0835 大津市別保2-7-19

H元年卒 関谷晴彦先輩 (勤) 〒506-0825 高山市石浦町2-461 東邦LPG&コック(株)
高山営業所 0577-36-4875
(自) 〒506-0825 高山市石浦町4-327 みなくるマンション205
0577-36-4875

H 2 年卒 前田 崇先輩 (自) 〒634-0051 桜原市白樺町1-26-14 0744-27-7027

H 2 年卒 米原栄一先輩 (自) 〒170-0003 東京都豊島区駒込5-3-2-512 03-5567-2773

H 3 年卒 長浜京子先輩 (自) 〒520-0038 大津市山上町5-36-602 077-521-4533

H 4 年卒 勝本 鞍先輩 (勤) 〒542-0083 大阪市中央区東心斎橋1-5-26 大阪府警南警察署
06-6281-1234

H 4 年卒 功力英俊先輩 (勤) 〒144-0052 東京都大田区蒲田5-37-1 味の素(株)東京支社
03-5713-7523
(自) 〒230-0051 横浜市鶴見区鶴見中央2-4-20 ナイスオーブン鶴見709

H 4 年卒 宮崎寿春先輩 (勤) 〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-2
NTT-ME 第5マーケティング本部 03-4803-3014
(自) 〒240-0026 横浜市保土ヶ谷区権太坂3-7-31
NTT権太坂社宅2-103 045-731-9618

H 4 年卒 米山尚吾先輩 (自) 〒658-0063 神戸市東灘区住吉山手4-11-36
イトピア御影山手坂3103 078-843-3972

H 4 年卒 吉田拓生先輩 (勤) 〒812-8510 福岡市博多区博多駅前1-5-1 富士通(株)
092-411-6384
(自) 〒815-0035 福岡市南区向野2-2-7 アロマキヤル大橋702
092-512-2215

H 4 年卒 加藤 康先輩 (自) 〒630-8044 奈良市六条西5-5-21

H 6 年卒 藤井啓宏先輩 (勤) 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-50-6
(株) 良品計画無印良品青山店 03-3407-4666
(自) 〒153-0051 東京都目黒区上目黒2-15-2-302 03-3719-2808

H 6 年卒 竹内秀暢先輩 (勤) 〒100-8086 東京都千代田区丸ノ内2-6-3 三菱商事(株)
03-3210-7835
(自) 〒224-0001 横浜市都筑区中川3-28-15 ノルグリーン中川302
045-913-9606

H 6 年卒 余谷有紀枝先輩 (自) 〒156-0014 東京都世田谷区新町2-1-12 ノムラ21-702

H 7 年卒 金咲越郎先輩 (勤) トライ
(自) 〒631-0006 奈良市西登美ヶ丘5-1-17 0742-46-9619

H 7 年卒 小吹 悟先輩 (勤) 03-3507-1313
(自) 〒142-0064 東京都品川区旗の台2-8-17 HATハウス202
03-5751-8298

H 7 年卒 佐伯 明先輩 (自) 〒350-0158 埼玉県比企郡川島町伊草104-1 7外蔵屋敷102

H 7 年卒 西村泰隆先輩 (自) 〒167-0023 東京都杉並区上井草4-14-24-102 03-3394-8356

H 7 年卒 大石文穂先輩 (勤) 〒430-0927 浜松市旭町11-1 アレスター(株)エリザベス
053-413-1000
(自) 〒430-0846 浜松市白羽町290-2 053-442-5848

H 8 年卒 岡本和彦先輩 (勤) 〒141-0022 東京都品川区東五反田3-20-14
イシケニオントクノヨウーズ・ジャパン(株) 03-5449-6475
(自) 〒146-0082 東京都大田区池上6-43-9-203

H 8 年卒 押谷菊治先輩 (勤) 阪神事業部神戸業務課 078-271-5168

H 8 年卒 川勝欣生先輩 (自) 〒270-0141 流川市松ヶ丘1-483-1 ニチメン(株)柏原157

H 8 年卒 木原 晃先輩 (勤) 06-6365-4189
(自) 072-894-0431

H 8 年卒 四家雄一郎先輩 (自) 〒120-0035 東京都足立区千住中居町11-16-201

H 8 年卒 吉野光治先輩 (勤) 〒240-0005 横浜市保土ヶ谷区神戸町134
横浜ビージュネバーグ-エースターター 054-654-4780
(自) 〒422-8501 静岡市中野新田315-1-401 054-285-2007

H 8 年卒 渡辺将常先輩 (勤) 日本団体生命保険 06-6904-4890
(自) 〒815-0041 福岡市南区野間1-15-3 アミゼン南高宮903
092-512-1530

H 9 年卒 伊藤浩史先輩 (勤) 〒351-0024 朝霞市泉3-15-1 営業部
(自) 048-467-1314

H 9 年卒 岡 将行先輩 (勤) 〒559-8510 大阪市住之江区南港北1-12-35 外商部
06-6614-8190
(自) 〒520-0043 大津市中央1-7-31-1208

H 9 年卒 奥 哲史先輩 (自) 〒205-0002 東京都羽村市榮町2-15-62 第5ミラハイツ201
042-555-7978

H 9 年卒 中園智英先輩 (勤) 06-6348-0109

H 9 年卒 森本周子先輩 (勤) 〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-5-1 37森ビル8F
TIM総合法律事務所 03-5472-8511

H 10 年卒 石橋欣也先輩 (自) 〒226-0005 横浜市緑区竹山2-2-4 2206-612 045-932-6131

H 10 年卒 岡前秀彦先輩 (勤) 03-5210-3852
(自) 〒165-0027 東京都中野区野方2-7-12 ハイエクセント206
03-5343-2015

H10年卒 高橋 功先輩 (自) 〒787-0866 中村市楠島2-105
H10年卒 竹野内直毅先輩 (勤) 03-5210-3852
H10年卒 和田大輔先輩 (自) 〒569-0085 大阪府高槻市南松原11-10 トーン高槻寮404
H10年卒 植西理恵先輩 (自) 〒581-0068 八尾市跡部北の町3-2-8-405
H12年卒 小松正彦先輩 (自) 〒610-0382 京田辺市興戸郡塚38 モライク北尾115
0774-63-7451
H12年卒 北谷 充先輩 (勤) 〒892-0846 鹿児島市加治屋町18-8
(自) 〒892-0838 鹿児島市新屋敷町19-10 JAウイング'208
H12年卒 大山智司先輩 (自) 〒584-0034 富田林市甲田3-7-22
ダイヤバレス富田林308 0721-23-2509
H12年卒 若杉 圭先輩 (自) 〒610-0101 城陽市平川車塚89-3 ブルビックタワー109
0774-55-8038
H12年卒 高橋 輝先輩 (勤) 〒612-8501 京都市伏見区竹田鳥羽殿町6 京セラ(株)
075-604-3443
(自) 〒520-2134 大津市瀬田2-1-16 077-543-6650
H12年卒 亀井健治先輩 (自) 〒184-0011 東京都小金井市東町1-16-4 0423-83-1848
H12年卒 赤坂知紗先輩 (勤) 〒541-8501 大阪市中央区今橋3-5-12 日本生命保険相互(株)
06-6209-4368
H12年卒 殷 麻衣先輩 (勤) 〒651-1313 神戸市北区有野中町3-30-24 078-982-3811
(自) 〒659-0013 芦屋市岩園町5-13 0797-32-9619
H12年卒 田中真由子先輩 (勤) 〒370-0848 高崎市鶴見町3-12 027-327-8511
(自) 〒379-0221 群馬県碓氷郡松井田町新堀1114-4 0273-93-3308

間違いなどございましたら、ご連絡頂ければ幸いです。

カットルーム TANBA
大津市瀬田1丁目16-8
077(545)0226

aBアーツしが
[滋賀県青年会館]
077-537-2753(代)
〒520-0851 滋賀県大津市唐橋町23-3

好み焼・鉄板焼 霞
メニュー豊富・お持ち帰りOK
077(545)4141

セブン-イレブン
大津瀬田西インター口店
滋賀県大津市瀬田3-34-1
電話: 077-545-3749



■営業品目

可鍛鋳鉄製品
パーライト可鍛鋳鉄
ダクトタイル鋳鉄製品
鐵道車両部品
自動車部品
産業機械部品
碍子金具

印管継手
スミコート継手
kコア継手、kwコア継手
ステンレスねじ継手
ステンレスメカ継手
ニップル
スミニップル
鋳物フランジ
その他の継手

本社 〒586-8528 大阪府河内長野市上原西町16番1号

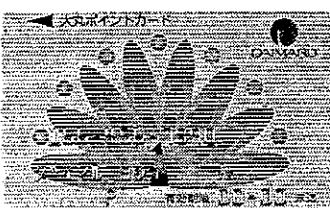
TEL(0721)53-3121(代) FAX(0721)54-1814

TEL(0721)53-3141(代) FAX(0721)53-3148

東京支店 〒104-0047 東京都千代田区内神田3-4-11千代田共同ビル7F

TEL(03)5297-8221(代) FAX(03)5297-8222

お買物のたびにポイントがつき、2,000ポイントごとに2,000円分の
「大丸ポイントお買物券」とお引換えることができるクレジットカードです。



会員募集中

大丸ポイントカード

[大丸のポイントサービス] たとえば1年目ならお買上げ額の7%ポイントをプレゼント。
2,000ポイントごとに2,000円の「大丸お買物券」と交換できるシステムです。

1 7%から最高10%のご優待ポイントをサービス。※一部除外品もございます。

2 特価品も3%のご優待ポイントをサービス。

3 ご来店いただけで10%ポイントをプレゼント。※家族会員を含む一口座につき、1店舗1日1回限りです。

4 現金でのお買上げにも、カードをご提示いただくと、優待ポイントをサービス。

5 お買得情報のお知らせや、特別ご優待企画のごあんない。

ご入会お申込みは

京都店:7階クレジットサービスセンター

やましな店:1階ギフトサロン



酒造の三百三拾年

有限会社 平井商店
平井 八兵衛 (S16卒)

大津市中央1丁目2-33
TEL (0775) 22-1277
FAX (0775) 22-2250



近くで便利な

南部自動車学校

0596-23-1155(代)



オートザム伊勢

〒519-05 三重県度会郡小俣町元町1648-10
AUTOZAM TEL:0596-27-3236 FAX:0596-27-3706

大東自動車株式会社

ナカボ一株式会社

代表取締役 中島 俊一郎

本社：〒541-0047

大阪市中央区淡路町3丁目6番14号

Tel: 06-202-2552 Fax: 06-202-2590

東京営業所：〒107-0061

東京都港区北青山3丁目5番30号

Tel: 03-3423-2550

中島毛糸紡績株式会社

中島（珠海）毛紡廠有限公司

本社工場：〒595-0033

大阪府和泉大津市板原370

Tel: 0725-33-1101

ナカボ一香港有限公司

Tel: 2362728 Fax: 2362560

Telex 45822 LAMBS HX

广东省珠海市珠海九州大道

与迎賓大道交界處

Tel: 8880119 Fax: 880173



株式会社 王子製作所

船舶用機器部品・建設機械部品
並びに各種製缶加工・一般建築鐵骨施工

本社 兵庫県加古郡播磨町新島23番地
電話加古川(0794)37-1600(代)
FAX (0794)35-6181

丸亀工場 香川県丸亀市垂水町2747番地
電話 丸亀 (0877)28-7004
FAX (0877)28-5162

大久保自動車整備工場

大坂陸運局指定民間車検工場
自動車整備・钣金・塗装・販売・保険代理店

兵庫県加古郡播磨町新島23番地
電話加古川(0794)37-1221㈹
FAX (0794)35-6181

"良い品と一緒に送ろう真心を"

クッキング・チボ

タイハイ株式会社

京滋・北陸地区 滋賀営業所

T 520-30

栗田郡栗東町小柿 546
077(553)7440

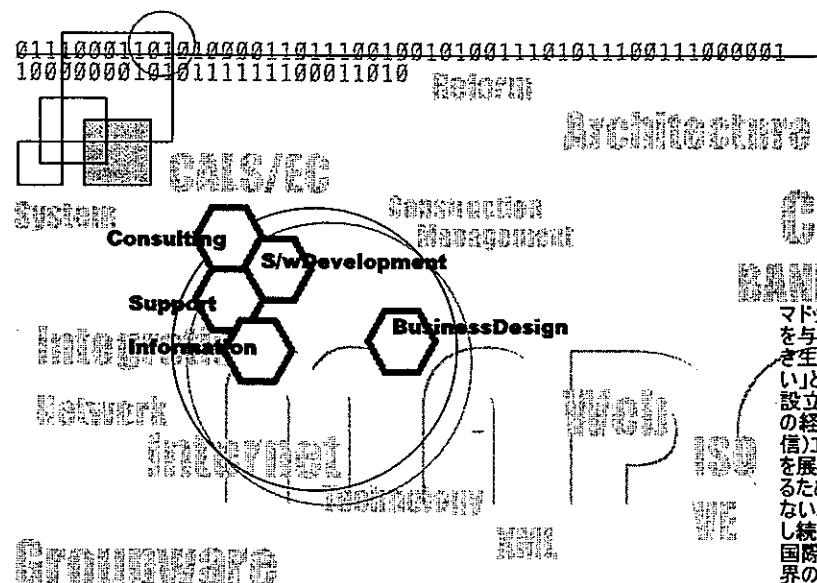
		月	火	水	木	金	土
午 前	9:00 ~ 12:00	○	○	○	/	○	○
午 後	5:00 ~ 8:00	○	※ /	○	/	○	/

休診：木・日曜日、祝祭日、火・土曜日の午後
※但し火曜日の午後 1:00-5:00 迄は
予約検査を致します。

☆ 来院時には、診察券を必ずご持参下さい。
☆ 毎月初めには、保険証をお出し下さい。

大津市神領二丁目39-3
(建部大社東側)

TEL (077) 545-8810



株式会社マドック

3-7, Rinkourai-minami, Izumisano-Si, Osaka Tel +81 0724696456 Fax +81 0724696466



ニッセイはUNIVERSAL STUDIOS JAPANの
SNOOPY STUDIOSに協賛しています

丸山法律事務所

大阪市北区西天満2-10-2
幸田ビル10F

丸山 英敏

T E L 0 6 (6 3 6 5) 6 1 8 8

鉄鋼・建材・各種ルーフ・
ウォール・成型加工

松井金属工業株式会社

本社〒600 京都市下京区高辻通柳馬場東
入雁金町162 TEL 075-361-9341
守山営業所〒524 滋賀県守山市吉身四丁目3-19
TEL 0775-82-3611
舞鶴営業所〒624 舞鶴市宇上福井84
TEL 0773-76-2281
久御山営業所〒613 京都府久世郡久御山町大字田井小字
新荒見181 TEL 0774-44-7131

理科機器
SCIENCE

体力科学機器
PHYSICAL SCIENCE

産業科学機器
INDUSTRIAL SCIENCE

八神国際貿易株式会社 TEL 052-941-5111 / FAX 052-941-1155
YAGAMI INTERNATIONAL TRADING CO.,LTD.
HEAD OFFICE: NO.2-22, 3-CHOME, MARUNOUCHI, NAKA-KU, NAGOYA 460, JAPAN
YAGAMI TEL (052) 942-3411 / FAX (052) 971-1386 / E-mail:yegand@infonia.ne.jp



京阪シルク株式会社

代表取締役

新井 喜範

京都市下京区五条通西洞院東入
電話 075-351-2340 (円600)
FAX 075-351-4352

WACOAL BODY FUNDAMENTAL
1990 Fall & winter

もっと快適に安全に自由に、
スポーツライフを楽しむための
スポーツベーシック

ワコールボディファンダメンタル

もっと快適に
スポーツアグレ
コンディショニングウェア
コンディショニングとは
運動をするときに、筋肉の緊張を緩和する
方法です。筋肉は常に緊張している状態で、これが筋肉痛や腰痛などの原因になります。
筋肉を緩和することで、筋肉の疲労が軽減され、運動の効率が高まります。



より快適で安全な
スポーツライフの実現へ

びわ湖湖畔四面亭 政府登録国際観光旅館

元祖
あみ定

別館 夕景のやかな
勢多



春は桜 夏は夕涼み
秋のお月見 冬は都島(みやこじま)の舞
瀬田中之島の四季折々の風情の中で
ご会合、ご誕生日、ご法事などの集いに、
お料理とご宿泊をご利用下さい。

〈撮りごたつ宴会場でのんびりと〉

〒520-0851 滋賀県大津市唐橋町23-1
TEL.077-537-1780 (代) FAX.077-537-1791
ホームページ <http://www.jnetplan.co.jp/amisada>

そば・一品料理

あ づ
み 端

大津市瀬田1丁目19-31

TEL 077-545-0011

FOOD SHOP

WACO

和晃商事株式会社
神領店/滋賀県大津市神領3丁目8-5
TEL. (077) 545-2051
FAX. (077) 545-2087

証明写真・記念写真・出張撮影

コマイ写真館

石山・京都信用金庫前
(松原バス停前)
(FAX) 537-3122



LAWSON

瀬田1丁目店

大津市瀬田1-16-18

077-545-0023

日本酒とビール・ウイスキーの店

北井酒店

瀬田商店街

TEL 0120-45-2113

FAX 43-0220



shot bar & glutton club
EASY ALL
大津市螢谷706-4
077(537)6627・6628

滋賀県大津市栗津町10番2号
KARAOKE HOUSE
Bijoux
077-534-6994

ブルート メンズサロン
大津市栗津9-23
077(534)1736

ヘアーステーション きもと
京阪唐橋前
TEL: 537-0075

焼き肉のフルコース世界一周
スタミナ料理・近江牛焼き肉
鹿門
探偵ナイトスクープ他出演店
本店 滋賀県大津市栄町17-1
077-537-1319

歯科・小児歯科・矯正歯科
おかだ歯科医院
滋賀県大津市鳥居川町4-15
TEL (077) 537-0177
FAX (077) 537-0305

FamilyMart
瀬田四丁目店 077-544-5177
滋賀県大津市瀬田4-266-1

カフェ
レストラン **アドリア**
湖岸道路唐橋下ル
TEL (077) 537-1439

編集後記

この度、たくさんの方々のご協力を頂きまして、部報「力漕」第8号を発行できましたことをお礼申し上げます。

今年度は、数々の大会におきまして好成績を残すことができ、少しずつ全国レベルに近づいていくことができました。その結果と漕手の思いを記録すると共に、来年度更に大学日本一になって欲しいという願いを込めて、今回の「力漕」第8号を製作しました。新4回生の井上さんに特集の全てをお願いして、今の自分の力でどれだけできるのか私なりに頑張ったつもりです。来年度の「力漕」第9号も私が担当しますので、この「力漕」に関するご意見、ご感想等ございましたら、頂ければ幸いに存じます。そしてここに第9号は更に良いものを作ることを約束致します。

最後になりましたが、「力漕」第8号発行に際しまして、多大なるご支援、ご協力下さいました諸先輩方、各企業の方々、地元商店の皆様に心より御礼申し上げます。そして、今後とも同志社大学ボート部に、ご指導ご声援の程、宜しくお願ひ申し上げます。

同志社大学ボート部
広報担当 坂田 美紀

同志社大学体育会漕艇部部報「力漕」
2000年3月末日発行
発行者 同志社大学体育会漕艇部
〒520-2134 滋賀県大津市瀬田3丁目2-30
TEL 077-545-0702
FAX 077-543-1194
E-mail address dubc@skyblue.ocn.ne.jp

広告掲載料振込先：滋賀銀行瀬田支店 普通預金
口座番号 474219
同志社大学漕艇部「力漕」
代表 坂田 美紀

